平成26年7月14日	課長	課長補佐	係長	主任	審査者	設計者	検算

工　事　設　計　書

工　事　名　　シビックセンターたからや解体工事

工事場所　　倉吉市宮川町

一　　金　　　　円　（内消費税及び地方消費税額　　　　円）

工事概要	起工理由
シビックセンターたからや解体工事 ・事務所棟　　鉄骨造５階建　延床面積9,372.34㎡ ・駐車場棟　　鉄骨造２階建　延床面積2,659.51㎡	

倉　吉　市

平成　26　年度

現　場　説　明　書

工事名　　シビックセンターたからや解体工事

平成26年7月14日
倉　　吉　　市
企　画　振　興　部

立会会社名

	印
	印
	印
	印
	印
	印
	印
	印
	印
	印
	印

1　事務手続
　倉吉市建設工事執行規則並びに倉吉市財務規則による。

2　設計図書
（1）　図面及び内訳明細書枚数
　図面枚数　　50枚
　内訳明細書　　32枚

（2）　数量公開
　数量入り内訳明細書は、設計図書に明示している数量を除き参考であり、発注者及び入札参加者を拘束するものではない。

3　契約事務
　落札者は、倉吉市企画振興部地域づくり支援課に出向き、請負契約事務及び施工関係の打合せをして、工事の促進を図ること。

4　その他
（1）　この工事の施工に当っては、別紙1「一般的事項」に示す事項に従うこと。

（2）　別紙2「特記事項（施工条件明示事項）」　－　有

現　場　説　明　書

一般的事項　１
平成26年5月30日改正

１　仕様書の適用について

この契約において適用する仕様書は、特に定めのない限り『建築物解体工事共通仕様書』をいう。

２　法令等の遵守について

（１）　建設業法、労働安全衛生法等の各種関連法令を遵守し、法令に抵触する行為は行わないこと。

（２）　建設業からの暴力団排除の徹底について
ア　工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ　この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

（３）　工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者をいう。）は、建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

３　下請関係の適正化について

（１）　この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」（平成３年２月５日付建設省経構発第２号建設省建設経済局長通知）及びその趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。

（２）　受注者は、100万円以上の下請契約を締結した場合は「建設工事の下請報告について」（平成20年３月28日付第200700193464号鳥取県県土整備部長通知）に基づき、下請施工体系図及び建設工事下請報告書を提出しなければならない。

（３）　工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、原則として市内に本店又は支店、営業所等を有する業者（以下「市内業者」という。）と契約すること。ただし、技術的に施工できる市内業者がない工事等を請け負わせ、又は委託する場合、あるいは市内業者で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、監督員に事前協議して市外業者と契約することができる。

（４）建設業退職金共済制度への加入等
ア　建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請を含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
イ　建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
ウ　受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

４　労働者の福祉向上について

（１）　建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

（２）　下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

現　場　説　明　書

5　労働安全衛生の確保について

労働災害のリスク低減のため、「建設工事における労働災害防止のためのリスクアセスメント等について」（平成23年９月30日付第201100099979号県土整備部長通知）に基づくリスクアセスメント等に積極的に取り組むこと。

6　建設資機材の使用について

（1）　工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」（平成22年１月20日付第200900157785号県土整備部長通知）に基づくリサイクル製品がある場合は、原則これを使用すること。

（2）　リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
ア　県内産の資材がある場合は、県内産の資材を使用すること。
イ　県外産の資材を使用する場合は、県内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「県内販売業者」という。）から購入した資材を使用すること。ただし、当該資材について県内販売業者がない場合は、この限りでない。

（3）　建設機械の使用について
ア　施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
イ　工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）又は建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等（以下「不正軽油」という。）を使用しないこと。
また、使用燃料の抜き取り検査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うとともに、不正軽油の使用が発見された場合には、当該燃料納入業者を排除するなどの是正措置を講じること。

（4）　ダンプトラック等による運搬について
ア　「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。
イ　積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにするなど違法運行を行わせないようにすること。違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7　リサイクルの促進について

建設リサイクル法、「鳥取県県土整備部公共工事建設副産物活用実施要領」（平成22年９月13日付第201000087971号県土整備部長通知）に基づき建設副産物のリサイクル等に努めること。

8　消費税法及び地方消費税法の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された添加拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

9　その他

受注者は、工事請負代金額500万円以上の工事について、受注、変更、訂正及び完成時10日以内（ただし、工事請負代金額が2,500万円未満の工事にあっては、受注・訂正時）に工事実績情報サービス（CORINS）に工事実績情報の登録を行い、登録内容確認書を印刷して発注者に提出すること。

現　場　説　明　書

区分	項目	内容
仕様書	①	平成26年7月14日時点で最新の仕様書によること。
工程	① ~~（他工事等との調整）~~	については、　　　と関連するので、相互の連絡調整を密にすること。
	② ~~（着工保留）~~	については、　　まで着工しないこと。
	③ ~~（部分完成）~~	については、　　までに完成すること。
	④（施工時間）	本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：30～17：00)を見込んでいる。 の施工時間は、　：　～　：　とする。
	⑤ ~~（施工時期選択制度）~~	この工事には、施工時期選択制度を適用する。工事完成期限は、平成　年　月　日までとし、実工事期間は　　日間とする。 なお、契約締結日から着工日前日までの間に資材の搬入、仮設物の設置等の工事の着手を行ってはならない。
	⑥ ~~（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~	この工事の工期には、鋼材調達期間として、〇か月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
用地関係	① ~~（用地、物件等未処理）~~	本工事区間の　　　には　　　があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、　　　頃　　　の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査）	工事に係る地下埋設物等の事前調査については、一部未調査である。
	② ~~（支障物件）~~	の施工に当って、　　　が支障となっているが、までに移設が完了する見込である。
	③ ~~（立木の置き場所）~~	工事用地内の立木は伐採し、　　　に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械）	本工事のうち全ての箇所については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年４月９日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：　全ての工種　、施工機械：　該当する全ての機械
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 ~~交通誘導員Ａ　０人（交代要員　有・無）　０日　合計　０人~~ ~~交通誘導員Ｂ　０人（交代要員　有・無）　０日　合計　０人~~ ~~警備業法に規定する警備員を配置する場合における交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は次のとおりとする。~~ ~~交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条第１項に規定する以外の者を配置し、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合においては、交通誘導員Ｂを配置しているものとみなす。~~
工事用道路	① ~~（農地の一時転用について）~~	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する場合は、農地の一時転用が必要である。そのため、受注者は、「公共事業の施行に伴う附帯施設の設置に係る一時転用の取扱いについて」（平成24年10月15日付第201200109101号経営支援課長通知）に基づき、着手前に本工事が公共事業であることが証明された報告書を所轄農業委員会へ提出すること。
仮設物	①（仮囲い等の範囲、構造）	工事範囲とその他を明確に区画して、第三者が工事範囲内に立ち入らないようにし、また、第三者に危害が及ばないように対策を講じること。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。

濁水排水処理

①（ 濁 水 処 理 ）　工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うこと。なお、図示した場合は、設計図書によることとする。

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

① ~~（他工事等流用）~~　建設発生土は、　　　　市・町・村　　　　地内の　　　　　　　工事現場に運搬（片道運搬距離　　　km）とするものとする。

② ~~（建設技術センター）~~　建設発生土は、　　　　市・町・村　　　　地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離　　　km）とするものとする。なお、処理費として１㎥当たり　　　円をセンターに支払うこと。
　センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状　（記載例）砂質土、コーン指数300kN/㎡以上）

③ ~~（ 自 由 処 分 ）~~　建設発生土は自由処分とし、片道運搬距離　　　kmを見込んでいる。

【コンクリート魂・アスファルト魂・建設発生木材（処理）】

④（ 分 別 解 体 等 ）　コンクリート魂・アスファルト魂・建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表１のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。
　コンクリート魂　　解体工事費に含む
　アスファルト魂　　解体工事費に含む
　建 設 発 生 木 材　　解体工事費に含む

⑤ ~~（他工事等流用）~~　　　　　　　は、　　　　市・町・村　　　　地内の　　　　　　工事現場に運搬（片道運搬距離　　　km）するものとする。

⑥（再資源化施設へ搬出）　コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。
　再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。
　なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）
コンクリート魂　　倉吉市国府地内の㈱小鴨
　　（運搬距離6.5km）、費用１ｔ当り2,000円
アスファルト魂　　倉吉市国府地内の㈱小鴨
　　（運搬距離6.5km）、費用１ｔ当り2,000円
建設発生木材　　倉吉市関金町郡家地内の㈱アオキ建設
　　（運搬距離13.3km）、費用１ｔ当り10,000円
鋼材スクラップ　　現地引取　費用１ｔ当り-24,500円
　　（倉吉資源リサイクル事業協同組合見積り）

（受入れ時間帯）　８時～17時（平日）
（受 入 れ 条 件）
ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。
イ　コンクリート魂、アスファルト魂の径は、それぞれ400mm以下、400mm以下であること。
ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径　　cm以下、長さ　m以下であること。
エ　２次公害発生のおそれのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑦ ~~(木材市場等への売却)~~　建設発生木材は、　　　　市・町・村　　　　地内の　　　　への搬出（片道運搬距離　　　km）を想定し、　　　円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑧ ~~（ 最 終 処 理 等 ）~~　　　　　　については、　　　　市・町・村　　　　地内の　　　　への搬出（片道運搬距離　　　km）を想定し、その費用として１ｔ当り　　　円を見込んでいる。
　　　　　　については、　　　　市・町・村　　　　地内の　　　　への搬出（片道運搬距離　　　km）を想定し、その費用として１ｔ当り　　　円を見込んでいる。
　これは、他の施設へ搬出を防げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑨（産業廃棄物の処理に係る税）　産業廃棄物の処理に係る税に相当 1,000円/ｔ見込んでいる。

建設副産物の処理

⑩ ~~（建設発生木材の出来形数量）~~ 建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工　種	項　　　目	規　　格	摘　　　要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な１断面を計測。 計測に当たっては、頂部に最低２箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に１台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、２台以上写真管理を行うこと。	折れ点を２点以上設ける 平均的な断面
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑪（マニフェスト）　産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要。

建設副産物の使用

① ~~（建設発生土の使用）~~ 　　　　　工事から　　　　　の建設発生土を受け入れ、　　　　　に使用する。

② ~~（再生資材の使用）~~
1)　Co雑割材は、　　　　　工事から運搬し、　　　　　に使用する。
2)　アスファルト・コンクリート切削殻等は、　　　　　工事から運搬し、　　　　　に使用する。
3)・再生クラッシャーラン［規格：　　　］は、　　　　　に使用する。
　・再生コンクリート砂［規格：RS-　　］は、　　　　　に使用する。
4)　再生加熱アスファルト混合物［規格：　　　］は、　　　　　に使用する。
5)　その他再生資材［資材名：　　　　　］［規格：　　　］は、　　　　　に使用する。

境界標

①（境界杭・境界標）　本工事における敷地内の全ての境界標は、必ず管理を行うこと。

災害復旧工事

① ~~（工事成績評定）~~ 　本工事は、災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事に該当するため、工事評定の対象としない。

技能士

①（技能士常駐）　本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
1) 技能士種別：とび技能士、当該工種：仮設工、仕様書根拠：１－　頁
2) 技能士種別：　　　技能士、当該工種：　　　工、仕様書根拠：１－　頁
3) 技能士種別：　　　技能士、当該工種：　　　工、仕様書根拠：１－　頁

コンクリート

① ~~（寒中コンクリート）~~ 　本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。~~なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」(平成23年12月７日付第201100123529号県土整備部長通知)に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。~~

その他

①　建設リサイクル法、労働安全衛生法、大気汚染防止法、石綿条例など関係法令に基づく書類を作成し、当該工事着手前に所轄に提出すること。また、関係法令上必要があれば、関係機関と協議を行うこと。

②　近隣住民及び付近道路通行者等に対して安全及び騒音振動対策を十分に講じるとともに騒音及び振動を軽減できる作業方法を検討すること。

③　近隣住民への説明会を開催したときは、出席、資料作成等協力すること。

④　工事車両搬入路、作業スペース、資材置き場、作業員駐車場等は近隣住民に支障のない場所とし、仮設計画を作成して地域づくり支援課担当者、監督員、調査職員と協議すること。

⑤　工事材料等の運搬経路を定め、搬入、搬出すること。また、運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対して損傷を与えないように予防措置を講じること。万一、損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧すること。

⑥　毎月末には、工程報告書を監督員に提出すること。

別表1 （A4）

建築物に係る解体工事

分別解体等の計画等

<table>
<tr><td colspan="2">建築物の構造</td><td colspan="2">□木造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □鉄筋コンクリート造
☑鉄骨造 □コンクリートブロック造 □その他（ ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">建築物に関する調査の結果</td><td>建築物の状況</td><td colspan="2">築年数 39 年、棟数 2棟
その他（ ）</td></tr>
<tr><td>周辺状況</td><td colspan="2">周辺にある施設 ☑住宅 ☑商業施設 ☑学校
☑病院 □その他（ ）
敷地境界との最短距離 約 0.3 m
その他（ ）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容</td><td></td><td>建築物に関する調査の結果</td><td>工事着手前に実施する措置の内容</td></tr>
<tr><td>作業場所</td><td>作業場所 ☑十分 □不十分
その他（ ）</td><td>仮囲いの設置</td></tr>
<tr><td>搬出経路</td><td>障害物 □有（ ）☑無
前面道路の幅員 約 12 m
通学路 ☑有 □無
その他（ ）</td><td>搬出口の養生</td></tr>
<tr><td>残存物品</td><td>☑有
（冷蔵庫、ALC板ガラ、照明機器）
□無</td><td>解体前に搬出</td></tr>
<tr><td>特定建設資材への付着物</td><td>☑有
（内装材 ）
□無</td><td>解体前に撤去</td></tr>
<tr><td>その他</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">工程ごとの作業内容及び解体方法</td><td>工程</td><td>作業内容</td><td>分別解体等の方法</td></tr>
<tr><td>①建築設備・内装材等</td><td>建築設備・内装材等の取り外し
☑有 □無</td><td>☑ 手作業
□ 手作業・機械作業の併用
併用の場合の理由（ ）</td></tr>
<tr><td>②屋根ふき材</td><td>屋根ふき材の取り外し
☑有 □無</td><td>☑ 手作業
□ 手作業・機械作業の併用
併用の場合の理由（ ）</td></tr>
<tr><td>③外装材・上部構造部分</td><td>外装材・上部構造部分の取り壊し
☑有 □無</td><td>□ 手作業
☑ 手作業・機械作業の併用</td></tr>
<tr><td>④基礎・基礎ぐい</td><td>基礎・基礎ぐいの取り壊し
☑有 □無</td><td>□ 手作業
☑ 手作業・機械作業の併用</td></tr>
<tr><td>⑤その他
（駐車場舗装 ）</td><td>その他の取り壊し
☑有 □無</td><td>□ 手作業
☑ 手作業・機械作業の併用</td></tr>
<tr><td colspan="2">工事の工程の順序</td><td colspan="2">☑上の工程における①→②→③→④の順序
□その他（ ）
その他の場合の理由（ ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">□内装材に木材が含まれる場合</td><td colspan="2">①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し
☑可 □不可
不可の場合の理由（ ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築物に用いられた建設資材の量の見込み</td><td colspan="2">トン</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">廃棄物発生見込量</td><td rowspan="4">特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分</td><td>種類</td><td>量の見込み</td><td>発生が見込まれる部分（注）</td></tr>
<tr><td>☑コンクリート塊</td><td>6,728トン</td><td>□① □② ☑③ ☑④ □⑤</td></tr>
<tr><td>☑アスファルト・コンクリート塊</td><td>95トン</td><td>□① □② □③ □④ ☑⑤</td></tr>
<tr><td>☑建設発生木材</td><td>13トン</td><td>☑① □② □③ □④ □⑤</td></tr>
<tr><td colspan="4">（注） ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他</td></tr>
<tr><td colspan="5">備考</td></tr>
</table>

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

［シビックセンターたからや解体工事　　　　　　　　　　］

区分	記号	名　　称	規　格　・　寸　法	数　量	単位	単　　価	金　　　額	備　　　　　考
		直接工事費						
	A	事務所棟　解体工事		1	式			
	B	駐車場棟　解体工事		1	式			
		直接工事費　　計						
		共通費						
		共通仮設費		1	式			
		現場管理費		1	式			
		一般管理費等		1	式			
		共通費　　計						
		工 事 価 格　　計						
		消 費 税 等 相 当 額		8.00	％			
		総　　合　　計						

倉　　　吉　　　市

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A	事務所棟　解体工事内訳						
A-1	直接仮設工事		1	式			
A-2	杭撤去工事		1	式			
A-3	基礎･土間撤去工事		1	式			
A-4	上部躯体・鉄骨撤去工事		1	式			
A-5	外部解体撤去工事		1	式			
A-6	内部解体撤去工事		1	式			
A-7	建具撤去工事		1	式			
A-8	外構及び付帯撤去工事		1	式			
A-9	電気設備撤去工事		1	式			
A-10	給排水設備撤去工事		1	式			
A-11	空調設備撤去工事費		1	式			
	直接工事　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-1	直接仮設工事						
	外部足場工事	枠組足場（手摺先行足場）	4920.0	m2			
	同上シート	枠組足場用　防炎Ⅱ類	2023.0	m2			
	同上シート	枠組足場用　防音	2896.0	m2			
	テスリ	枠組足場用	217.0	m2			
	仮設足場運搬費	枠組足場	4920.0	m2			
	養生費		9372.0	m2			
	清掃跡片付		9372.0	m2			
	仮囲い　（第一工程、第二工程）	成型鋼板　H=3000	93.9	ｍ			
	仮囲い　　（第二工程）	成型鋼板　H=2000	117.0	ｍ			
	キャスターゲート	W=3000	1.0	ケ所			
	キャスターゲート	W=6000	2.0	ケ所			
	整地	真砂土	434.0	m3			
	合　　計						

NO	名　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-3	基礎・土間解体工事						
	掘り方		968.0	m3			
	埋戻し		968.0	m3			
	基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	圧搾機	256.0	m3			
	基礎地中梁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	圧搾機	371.0	m3			
	柱巻きｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	圧搾機	88.9	m3			
	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		315.0	m3			
	ｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1184.0	m3			
	EV機械室躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		9.8	m3			
	鉄筋切断	集積共	2224.0	m3			
	ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		158.0	m3			
	捨てｺﾝ撤去		31.4	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ類集積、積込		2413.4	m3			
	処分費		4826.8	t			
	砕石地業撤去	集積、積込み共	394.0	m3			
	鉄筋スクラップ控除		179000.0	Kg			
	合　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-4	上部躯体、鉄骨撤去工事						
	鉄骨軸組みとりこわし	集積共	981.0	t			
	鉄骨スクラップ控除		981000	Kg			
	合　　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-5	外部解体撤去工事						
	屋根防水撤去	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	1793.0	m2			
	同上集積、積込み		1793.0	m2			
	同上処分費		10.0	t			
	外壁ALC解体	125ｔ	3083.0	m2			
	同上集積、積込み		380.0	m3			
	同上処分費		228.0	t			
	鉄骨階段撤去費	D、E階段	3.4	t			
	鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		3.4	t			
	折版撤去	150山	75.8	m2			
	同上集積､積込		75.8	m2			
	同上ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		680.0	Kg			
	ﾊﾞﾙｺﾆｰﾃｽﾘ撤去		55.3	m			
	同上集積､積込		55.3	m			
	鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		240.0	Kg			

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-6	内部解体撤去工事						
	間仕切撤去　ALC125ｔ		924.0	m2			
	間仕切撤去　CB120ｔ		336.0	m2			
	間仕切撤去　LGS65		37.0	m2			
	床　ﾓﾙﾀﾙ撤去	30t	8782.0	m2			
	床　ﾃﾗｿﾞｰﾀｲﾙ撤去		1709.0	m2			
	床　ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ撤去		113.0	m2			
	床　塩ビﾀｲﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ混入無	5484.0	m2			
	階段巾木　ﾃﾗｿﾞｰ撤去	70×27	171.0	ｍ			
	内壁　ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ撤去	30t	304.0	m2			
	内壁　ﾀｲﾙ撤去		315.0	m2			
	内壁　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ撤去		847.0	m2			
	内壁　合板撤去	5.5t	1069.0	m2			
	内壁　下地胴縁	木製	1069.0	m2			
	内壁　PB12撤去		54.0	m2			
	内壁　ｽﾃﾝﾚｽ板撤去	0.5t	12.0	m2			
	柱、針型ﾗｽﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	耐火被覆60t	150.0	m2			
	柱、針型ﾗｽﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え	耐火被覆40t	1244.0	m2			
	合　　計						

NO	名　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-7	建具撤去工事						
	AW撤去、ｶﾞﾗｽ集積	18種185ケ所	1363.0	m2			
	同上ｱﾙﾐ枠、建具枠集積		1685.0	m			
	同上ｱﾙﾐ枠、建具枠ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		106.9	ton			
	同上ｶﾞﾗｽ処分費		11.7	ton			
	AD撤去、ｶﾞﾗｽ集積	7種11ケ所	67.5	m2			
	同上ｱﾙﾐ枠、建具枠集積		118.0	m			
	同上ｱﾙﾐ枠、建具枠ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		9.0	ton			
	同上ｶﾞﾗｽ処分費		0.2	ton			
	SD撤去、建具集積	13種43ケ所	67.5	m2			
	同上ｽﾁｰﾙ枠、建具集積		232.0	m			
	同上ｽﾁｰﾙ枠、建具枠ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		3.1	ton			
	SS撤去、ｽﾗｯﾄ集積	16種32ケ所	332.0	m2			
	同上ｽﾁｰﾙ枠集積		153.0	m			
	同上ｽﾁｰﾙ枠、ｽﾗｯﾄｽｸﾗｯﾌﾟ控除		45.1	ton			
	SG撤去、ｶﾞﾗﾘ集積	3種15ケ所	23.3	m2			
	同上ｽﾁｰﾙ枠集積		69.3	m			
	同上ｽﾁｰﾙ枠、ｶﾞﾗﾘｽｸﾗｯﾌﾟ控除		6.5	ton			
	合　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-8	外構及び付帯撤去工事						
	エレベーター解体撤去	1台	1.0	基			
	エスカレター解体撤去	8台	1.0	式			
	付属冷凍庫解体撤去		1.0	式			
	付属プロパン庫解体撤去		1.0	式			
	付属ごみ置き場解体撤去		1.0	式			
	隣設木造平屋建物解体撤去		1.0	式			
	北側側溝解体撤去		1.0	式			
	南側東西境界塀撤去		1.0	式			
	CB塀解体撤去		1.0	式			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去		1.0	式			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装撤去		1.0	式			
	据置材処分費	冷蔵庫	1.0	式			
	据置材処分費	ALC板ｶﾞﾗ	1.0	式			
	据置材処分費	照明機器他	1.0	式			
	合　　計						

NO	名　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-9	電気設備撤去工事						
A-9-1	受電設備　撤去		1.0	式			
A-9-2	幹線設備（盤他）　撤去		1.0	式			
A-9-3	発電機設備　撤去		1.0	式			
A-9-4	弱電設備　撤去		1.0	式			
A-9-5	火災報知機　撤去		1.0	式			
A-9-6	配管配線設備　撤去		1.0	式			
	1階～５階　電力盤、動力盤撤去処分		1.0	式			
	屋上　発電機、ラジエター他撤去処分費		1.0	式			
	５階　電気室トランス他運搬処分	PCB含有ﾄﾗﾝｽ運搬、無PCBﾄﾗﾝｽ処分	1.0	式			
	合　計						

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備		撤去	受電設備				
記　号	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-9-1	受電設備撤去						
	硬質ビニール電線管 (VE) 撤去	露出配管 28mm	8	m			
	厚鋼電線管 (CP) 撤去	露出配管 70mm	6	m			
	７芯ｹｰﾌﾞﾙ 撤去	7芯　管内	10	m			
	高圧ｹｰﾌﾞﾙ 撤去	6KV 38sq- 3C　管内	7	m			
	高圧ｹｰﾌﾞﾙ 撤去	6KV 38sq- 3C　メッセンジャー吊	23	m			
	IV電線 撤去	14　管内	8	m			
	IV電線 撤去	14　メッセンジャー吊	23	m			
	メッセンジャ 撤去	38	23	m			
	腕金 撤去	1800	3	本			
	計器等取付材 撤去		1	式			
	高圧開閉器 撤去	7.2KV 200A 地絡装置付 LA内蔵	1	台			

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備　　撤去　　受電設備

記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　額	備　考
	断路器 撤去	単極　7.2KV 400A	3	台			
	高圧油遮断器 撤去	7.2KV 3P 400A	1	台			
	計器用変成器 撤去		4	台			
	計器用変流器 撤去	75/5A 40VA	4	台			
	高圧開閉器 撤去	LBS 7.2KV 100A	5	台			
	変圧器 撤去	単相150KVA	1	台			
	変圧器 撤去	3相150KVA	1	台			
	高圧コンデンサー 撤去	3相53.2KVar	1	台			
	高圧盤 撤去		1	面			
	低圧動力盤 NO.1 撤去		1	面			
	低圧動力盤 NO.2 撤去		2	面			
	低圧電灯盤 撤去		3	面			
	高圧コンデンサー盤 撤去		1	面			
	直流電源盤 撤去	50A以下	1	面			

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備　　撤去　　受電設備

記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	フレームパイプ 撤去	32A	202	m			
	機器取付金物	L型鋼　3t*50mm以下	20	m			
	計						

直　接　工　事　費　細目別内訳

	電気設備		撤去		幹線設備（盤他）		
記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-9-2	幹線設備（盤他）　撤去						
	盤 撤去	1L-1	1	面			
	盤 撤去	1L-2	1	面			
	盤 撤去	1L-3	1	面			
	盤 撤去	M-1	1	面			
	同上ダクト 撤去	570*300*2000	1	組			
	盤 撤去	M-1-2	1	面			
	盤 撤去	M-1-3	1	面			
	盤 撤去	L-101	1	面			
	盤 撤去	L-103	1	面			
	盤 撤去	L-104	1	面			
	盤 撤去	L-105	1	面			
	盤 撤去	L-107	1	面			
	盤 撤去	ショーケース電灯	1	面			
	盤 撤去	動力盤	1	面			

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備　撤去　幹線設備（盤他）

記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	盤 撤去	M L-2(設備施工)	1	面			
	盤 撤去	2L-1	1	面			
	盤 撤去	2L-2	1	面			
	盤 撤去	2L-3	1	面			
	盤 撤去	M-2	1	面			
	盤 撤去	M-2-1	1	面			
	盤 撤去	3L-1	1	面			
	盤 撤去	3L-2	1	面			
	盤 撤去	3L-3	1	面			
	盤 撤去	M-3	1	面			
	盤 撤去	M-3-1	1	面			
	盤 撤去	メーター盤	1	面			
	盤 撤去	L-301	1	面			
	盤 撤去	L-302	1	面			

直 接 工 事 費 細目別内訳

電気設備　撤去　幹線設備（盤他）

記 号	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	盤 撤去	4L-1	1	面			
	盤 撤去	4L-2	1	面			
	盤 撤去	M-4	1	面			
	盤 撤去	M-4-1	1	面			
	盤 撤去	M-4-2	1	面			
	盤 撤去	空調盤 設備施工分	1	面			
	盤 撤去	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ盤 設備施工分	1	面			
	盤 撤去	L-403	1	面			
	盤 撤去	5L-1	1	面			
	盤 撤去	５階テナント盤	1	面			
	盤 撤去	M-5-2	1	面			
	盤 撤去	空調手元盤 架台　H=200共	1	面			
	盤 撤去	店舗盤	3	面			

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備		撤去	幹線設備（盤他）				
記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	開閉器 撤去	店舗動力盤(1) 木製	1	式			
	開閉器 撤去	店舗動力盤(2) 木製	1	式			
	盤 撤去	エレベター盤	1	面			
	１階ダクト 撤去	800*300*4650	1	組			
	２～３階ダクト 撤去	800*400*3850	2	組			
	２～４階ダクト 撤去	500*270*3860	3	組			
	４階ダクト 撤去	800*400*2870	1	組			
	電線、ケーブル	ダクト内	1	式			
	計						

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備			撤去		発電機設備		
記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-9-3	発電機設備　撤去						
	発電機 取り外し	115KVA	1	台			
	ラジエター 取り外し	架台共	1	台			
	消音器 取り外し		1	台			
	電線管 撤去	露出配管　CP75	23	m			
	電線管 撤去	露出配管　VE82	37	m			
	プールボックス 撤去	PB500*500*300	4	個			
	電線 撤去	IV150 管内	90	m			
	ケーブル 撤去	FP150*3C 管内	30	m			
	計						

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備			撤去		弱電設備		
記　号	名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-9-4	弱電設備　撤去						
	保安器盤 撤去		1	面			
	端子盤 撤去	壁掛　80P	4	面			
	端子盤 撤去	壁掛　10P	1	面			
	交換機 撤去	自立　PBX-10	1	面			
	直流電源装置 撤去	30A以下	1	台			
	電話機 撤去		1	台			
	PBX10夜間転換器 撤去		1	個			
	電話関連機器 撤去		1	個			
	ダクト 撤去	250*150*1650	1	組			
	計						

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備		撤去		火災報知設備			
記　号	名　　　称	摘　　　　要	数　　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
A-9-5	火災報知機　撤去						
	受信機 撤去	４０回線	1	面			
	火災表示盤 撤去	２０回線	1	面			
	連動制御盤 撤去	１０回線	1	面			
	総合盤 撤去	１級	10	面			
	電鈴 撤去		1	個			
	表示灯 撤去	補助散水栓用	11	個			
	アラーム弁切離し		5	箇所			
	計						

直　接　工　事　費　細目別内訳

	電気設備		撤去		配管配線設備		
記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　額	備　考
A-9-6	配管配線設備　撤去						
	電線管 撤去	露出配管　CP19	9	m			
	電線管 撤去	露出配管　CP25	42	m			
	電線管 撤去	露出配管　CP31	98	m			
	電線管 撤去	露出配管　CP39	141	m			
	電線管 撤去	露出配管　CP75	77	m			
	電線管 撤去	露出配管　CP82	40	m			
	電線管 撤去	露出配管　CP92	40	m			
	電線管 撤去	露出配管　VE82	37	m			
	プールボックス 撤去	PB200*200*100	3	個			
	プールボックス 撤去	PB300*300*200	1	個			
	プールボックス 撤去	PB500*500*300	4	個			
	プールボックス 撤去	PB1000*500*500	1	個			
	プールボックス 撤去	PB1500*1500*500	1	個			
	ケーブル	CPEV0.5×40P　管内	160	m			

直　接　工　事　費　細目別内訳

電気設備		撤去	配管配線設備				
記　号	名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　価	金　額	備　考
	ケーブル	CV250*3C　管内	14	m			
	ケーブル	FP150*3C　管内	14	m			
	電線	IV150	90	m			
	計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-10	給排水設備撤去工事						
	浄化槽撤去	500人槽1基、400人槽1基　処分共	1.0	式			
	受水槽撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製　5000×4000×2000H	1.0	式			
	大便器撤去		12.0	ｾｯﾄ			
	小便器撤去		7.0	ｾｯﾄ			
	手洗い器撤去		15.0	ｾｯﾄ			
	掃除流し		3.0	ｾｯﾄ			
	配管撤去		1.0	式			
	合　　計						

NO	名　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A-11	空調設備撤去工事						
	1F2F空調器撤去処分	天吊機器、室外機配管共	1.0	式			
	2～5F空調解体撤去	PF-120G×3（1台はﾌﾛﾝ抜取済） RP-1509E、CP-105、PFH-3A1	1.0	式			
	冷媒フロン抜取り処分費		1.0	式			
	残存ﾀﾞｸﾄ撤去		66.0	m2			
	配管撤去	機械室内	1	式			
	合　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
B	駐車場棟　解体工事内訳						
B-1	直接仮設工事		1	式			
B-2	杭撤去工事		1	式			
B-3	基礎･土間撤去工事		1	式			
B-4	上部躯体・鉄骨撤去工事		1	式			
B-5	外装解体撤去工事		1	式			
	直接工事　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
B-1	直接仮設工事						
	外部足場工事	枠組足場（手摺先行足場）	463.7	m2			
	同上シート	枠組足場用　防炎Ⅱ類	463.7	m2			
	テスリ	枠組足場用	119.0	m			
	仮設足場運搬費	枠組足場	883.0	m2			
	外部足場工事	単管足場(養生用)	282.8	m2			
	同上シート	防炎Ⅱ類	282.8	m2			
	仮設足場運搬費	枠組足場	282.8	m2			
	養生費		2659.0	m2			
	清掃跡片付		2659.0	m2			
	合　　計						

NO	名　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
B-3	基礎･土間撤去工事						
	掘り方		341.0	m3			
	埋戻し		341.0	m3			
	基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	圧搾機	48.4	m3			
	基礎地中梁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	圧搾機	46.3	m3			
	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		142.0	m3			
	ｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		444.0	m3			
	鉄筋切断	集積共	680.0	m3			
	捨てｺﾝ撤去		8.4	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ類集積、積込		689.1	m3			
	処分費		1378.2	t			
	砕石地業撤去	集積、積込み共	199.0	m3			
	鉄筋スクラップ控除		32100.0	Kg			
	合　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
B-4	上部躯体・鉄骨撤去工事						
	鉄骨軸組みとりこわし	集積共	294.0	t			
	鉄筋スクラップ控除		294000	Kg			
	合　　計						

NO	名　　称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
B-5	外装解体撤去工事						
	外壁ALC解体	100t	432.0	m2			
	同上集積、積込み		43.2	m3			
	同上処分費		25.9	t			
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ解体	120t	46.8	m2			
	同上集積、積込み		5.6	m3			
	同上処分費		7.3	t			
	角波鉄板解体	0.4t	66.2	m2			
	同上集積、積込み		66.2	m2			
	同上ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		0.4	t			
	柱ﾗｽﾓﾙ解体	40t	55.9	m2			
	同上集積、積込み		2.2	m3			
	同上処分費		1.8	t			
	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ		32.0	m			
	同上集積、積込み		32.0	m			
	同上処分費		32.0	m			
	合　　計						

シビックセンターたからや解体工事

共通図面		事務所棟		事務所棟		駐車場棟		電気設備・機械設備	
A-01	表紙・図面リスト	AJ-01	仕上表（1）	SJ-01	基礎伏図	AT-01	1階平面図	E-01	配置図（電気設備）
A-02	特記仕様書（1）	AJ-02	仕上表（2）	SJ-02	基礎リスト	AT-02	2階平面図	E-02	1階平面図（電気設備）
A-03	特記仕様書（2）	AJ-03	1階平面図	SJ-03	1階柱、2階梁伏図	AT-03	3階平面図	E-03	2階平面図（電気設備）
A-04	配置図・付近見取図・面積表	AJ-04	2階平面図	SJ-04	2階柱、3階梁伏図	AT-04	立面図	E-04	3階平面図（電気設備）
A-05	外構撤去図	AJ-05	3階平面図	SJ-05	3階柱、4階梁伏図	AT-05	断面図（1）	E-05	4階平面図（電気設備）
A-06	第一工程仮設計画図（参考）	AJ-06	4階平面図	SJ-06	4階柱、5階梁伏図	AT-06		E-06	5階平面図（電気設備）
A-07	第二工程仮設計画図（参考）	AJ-07	5階平面図	SJ-07	5階柱、R階梁伏図	AT-07		E-07	R階平面図（電気設備）
		AJ-08	R階平面図						
		AJ-09	立面図						
		AJ-10	断面図（1）						
		AJ-11	断面図（2）					M-01	配置図（機械設備）
		AJ-12	建具リスト			ST-01	基礎伏図	M-02	1階平面図（機械設備）
		AJ-13				ST-02	基礎リスト	M-03	2階平面図（機械設備）
		AJ-14				ST-03	1階柱、2階梁伏図	M-04	3階平面図（機械設備）
		AJ-15				ST-04	2階柱、3階梁伏図	M-05	4階平面図（機械設備）
		AJ-16						M-06	5階平面図（機械設備）
		AJ-17						M-07	R階平面図（機械設備）
		AJ-18							
		AJ-19							
		AJ-20							

Project シビックセンターたからや解体工事
Title 表紙・図面リスト

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町2−52−1
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315

D C NO A-01

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工事場所　　倉吉市宮川町
2．敷地面積　　4340.35　㎡
3．地域地区　　都市計画地域（ ⊙内　・外 ）
　　　　　　　用途地域等　（商業地域　　　　　　）

4．建物概要

番号	名　称	工事種別	構　造	階数	建築面積(㎡)	延べ床面積(㎡)
1	事務所棟		鉄骨造	5	2,167.16	9,372.34
2	駐車場棟		鉄骨造	2	986.94	2,659.51

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「建築物解体工事工事標準仕様書（平成２４年版）」（以下、「解体標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板・アスベストの処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
（2）請負者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。
（3）電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。
（2）特記事項は⊙印のついたものを適用する。
　　⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
　　⊙印と(※)印のついた場合は共に適用する。
（3）項目に記載の（　　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す。
（4）Ｇ印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成２２年２月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
（5）解体標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（１．１．１３）の規定を優先する。
（6）材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 適用基準等
※ 建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成２２年版）（以下「標準詳細図」という）
※ 建築工事監理指針（上巻・下巻）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２２年版）
※ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　建設大臣官房官庁営繕部監修
⊙ 建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成１８年版）
・
・

② 官公庁その他への手続（1.1.3）
工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする

③ 電気保安技術者（1.3.3）
工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。

④ 工事安全計画書（1.3.7）
建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督員に提出する

⑤ 発生材の処理等（1.3.8）
・ 引き渡しを要するもの（　　　　　　　　　）
・ 現場において再利用を図るもの（　　　　　　　　　）
⊙ 再生資源化を図るもの
　・ コンクリート塊　・ アスファルトコンクリート塊　⊙ 建設発生木材

⑥ 環境への配慮（1.4.1）
化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1）から5）を満たすものとする
1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド又はスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
3）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないものとする
5）1）、3）及び4）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする
　ホルムアルデヒド放散量　規制対象外
　該当する建築材料
　①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
　②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
　③下記表示のあるＪＡＳ適合品
　　ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
　　ｂ．接着剤等不使用
　　ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
　　ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
　　ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
　　ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
　ホルムアルデヒド放散量　第三種
　　該当する建築材料
　　①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品
　　②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品
　　③旧ＪＩＳのＥｏ品
　　④旧ＪＡＳのＦｃｏ品

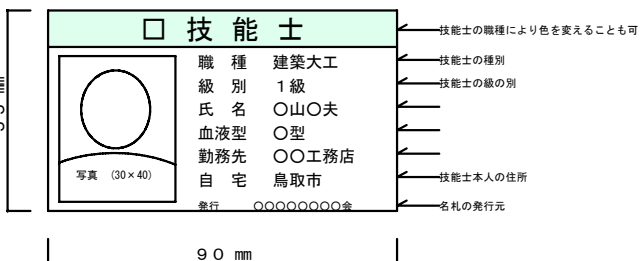
7 材料の品質等（1.4.2）
本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける
ＪＩＳ又はＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等又は、別表に示す材料・機材等の製造業者等は、次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける
　（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
　（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
　（3）安定的な供給が可能であること
　（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
　（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
　（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられていること）
別表

床型枠用鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材
乾式保護材	フリーアクセスフロア
透水・保水性床タイル及びブロック	可動間仕切
既成調合モルタル	移動間仕切
ルーフドレン	トイレブース
吸水調整材	煙突用成形ライニング材
アルミニウム製建具	天井点検口
鋼製建具	床点検口
鋼製軽量建具	グレーチング
ステンレス製建具	屋上緑化システム
錠前類	トップライト
クローザ類	エポキシ樹脂
自動扉機構	タイル部分張替え用接着剤
自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル
重量シャッター	既成調合目地材
軽量シャッター	鋳鉄製ふた

8 特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による

⑨ 技能士（1.5.2）
下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと
（技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者）
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用すること

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	⊙ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
	とび	・ とび作業
コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	・ ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法 ・ 防水工事作業 ・ ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
	スレート施工	・ スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	・ 鋼製下地工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・ プラスチック系床仕上工事作業 ・ カーペット系床仕上作業 ・ ボード仕上工事作業
	表装	・ 壁装作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 溶解ペイントマーカー工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業
畳工事	畳	・ 畳製作作業

《技能士名札参考図》

１０ 化学物質の濃度測定（1.5.9）
図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告するパッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う
・ パラジクロロベンゼン
　①３０分間換気
　　測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する
　②５時間閉鎖
　　①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする
　③測定
　　イ ②の状態のままで測定する
　　ロ 測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する
　　ハ 測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする
　④分析
　　測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する
　⑤その他
　　監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること

⑪ 完成写真
下記のものを監督員に提出する

区　分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ(mm)
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	２部	・ 24× 36以上
※ 完成写真	カラーサービス判	⊙ 内部 必要 箇所	２部	⊙ 24× 36以上
		⊙ 外部 必要 箇所	２部	⊙ 24× 36以上
・	カラーキャビネ判	・ 内部　箇所	部	・ 24× 36以上
		・ 外部　箇所	部	・ 24× 36以上
・ パネル	カラー	・ 四ッ切　箇所	２部	・ 100×125以上
		・ 半切　箇所		・ 24× 36以上
		・ 全紙　箇所		
・				

・ 電子データ及びネガの提出[工事記録写真]　（・ 要　⊙ 不要）
・ 電子データ及びネガの提出[完成写真]　（⊙ 要　・ 不要）

⑫ 完成時の提出図書（1.7.1~2）
下記のものを監督員に提出する
⊙ 原図Ａ１版又はＡ２版（設計図の第２原図訂正不可）　1 部
⊙ ＣＡＤデータ　1 部
⊙ 原図の陽画複写紙の２つ折製本　1 部
・ 原図の縮小版の陽画複写紙の２つ折製本（Ａ４版）　部
・ 複写　縮小版Ａ３バラ焼　部

完成図の種類及び内容
⊙ 案内図・配置図・面積表 ： 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（ＢＭの表示）
⊙ 平面図 ： 室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する
⊙ 立面図 ： 外壁仕上等を表示する
⊙ 断面図 ： 階高、天井高等を表示する
・ 仕上表 ： 屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する
・

⑬ 施工図及び施工計画書（1.7.2）
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

１４ 設備工事との取り合い
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける

設備工事との取り合い		建 築	電 気	機 械
・ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※		
	スリーブ・箱入れ		※	※
・ 鉄骨造の開口及び補強		※		
・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（釘処理共）			※	
・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			※	
・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠		※	
	補強	※		
・ ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※		
・ 埋込型機器取付用の天井壁の切込加工、下地の補強	切込		※	※
	補強	※		
・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※		
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※		
・ テレビアンテナ	基礎	※		
	アンカーボルト		※	
・ 天井点検口		※		
・ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置		※	※
	屋上設備	※		

⑮ 設計ＧＬ
※ 図示による　・（　　　）

１６ 耐荷重及び耐外力
建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速　Ｖｏ＝　　ｍ／ｓ
地表面粗度区分　・ Ⅰ　・ Ⅱ　・ Ⅲ　・ Ⅳ
積雪区分　建設省告示第１４５５号　別表（　　　）

⑰ 保全に関する資料（1.7.3）
下記のものをＪＩＳ Ａ４版ファイルに製本して監督員に提出する。
⊙ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書
・ 保証書
⊙ 官公署届出書類（保守に必要とするもの）
・ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書
・
・

⑱ 火災保険等
工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する
（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする）

１９ 環境配慮
鳥取県公共工事環境配慮指針　※ 対象工事　・ 非対象工事

⑳ 建設リサイクル法
※ 対象工事　・ 非対象工事

２１ 鳥取県福祉のまちづくり条例
※ 対象工事　・ 非対象工事

２２ 鳥取県景観形成条例
※ 対象工事　・ 非対象工事

２３ バリアフリー法
※ 対象工事　・ 非対象工事

２４ 省エネ法
※ 対象工事　・ 非対象工事

② 仮設工事

① 足場その他（2.2.4）
足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２２年版２．２．４（ｂ）によるほか、手すり先行工法設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）てすり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと
従来どおりの枠組足場工法による場合、墜落防止措置を講じた足場とすること

② 監督職員事務所（2.3.1）
※ 設ける　　㎡　⊙ 設けない
　備品等は、監督員の指示を受けて設置すること

③ 表示板

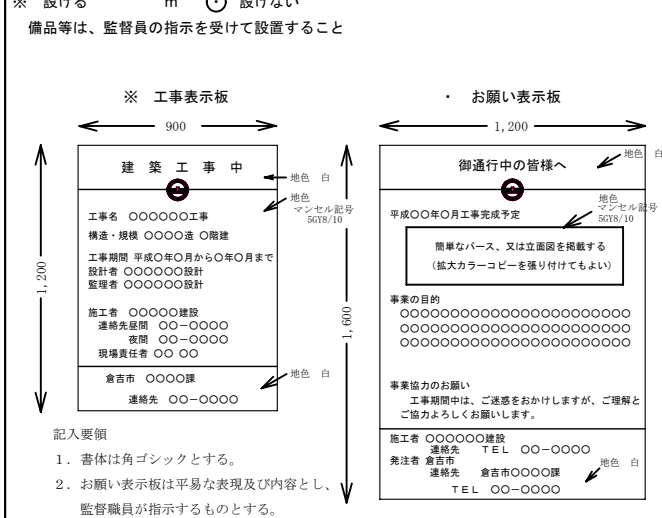
記入要領
1．書体は角ゴシックとする。
2．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

④ 工事用水
構内既存の施設　※ 利用できない　⊙ 利用できる（ (※) 有償　・ 無償 ）

⑤ 工事用電力
構内既存の施設　(※) 利用できない　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償 ）

⑥ 工事用仮設物
構内既存の施設　⊙ できる　・ できない

7 工事現場のイメージアップ

3 土工事

1 埋戻し及び盛土（3.2.3）
埋戻し土　種別　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　表3.2.1
　・ 建設汚泥から再生した処理土Ｇ
　Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う
盛土　種別　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種
　・ 建設汚泥から再生した処理土Ｇ
　Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う

2 建設発生土の処理（3.2.5）
※ 構外指示の場所に処分
・ 構内指示場所に敷き均し
・ 構内指示場所に堆積

4 地業工事

1 共通仕様（4.2.2）（4.2.4）
試験杭　（　　）本　位置は構造図による
地盤の平板載荷試験　※ 行わない
　・ 行う（　　）箇所
　位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重は構造図による
　試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による

2 既製コンクリート杭地業（4.3.2~7）
材料
※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）
・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）
・ プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）

	符号	杭径(mm)	杭長（ｍ）及び種別	継手数	本数	コンクリート強度（Ｎ／mm²）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

ＳＣ杭の鋼管　・ ＳＫＫ４００　・ ＳＫＫ４９０　・ ＳＴＫ４００　・ ＳＴＫ４９０
ＳＣ杭の板厚　※ 構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・ Ⅰ種　・ Ⅱ種　・ Ⅲ種　・ Ⅳ種
　なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする

先端部材形状　※ 開放形　・ 閉そく平たん形
ネガティブフリクション対策
　※ 不要　・ 要（構造図による）
杭の継手　・ 溶接継手
　・ 機械式無溶接継手（ ※ 建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
　機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う
　施工は評定等に記された施工管理基準による
杭頭の処理　※ 切断しない　・
杭頭の中詰材料　※ コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
支持地盤　※ 構造図による
施工方法
　※ 特定埋込み杭工法　・ セメントミルク工法
　　・ Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
　　・ Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝　を採用できる工法
　　工法　・ プレボーリング拡大根固め工法　・ 中掘り拡大根固め工法
　　杭周固定液の使用　・ する　・ しない
杭の精度
　水平方向の位置ずれ　・ 杭径の１／４かつ１００mm以下　・
　杭の傾斜　・ １／１００　・ 評定条件または認定条件による　・

Project	シビックセンターたからや解体工事
Title	建築工事仕様書（１）

Designed by
〒６８２－０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７　ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５

D　C　NO A-02

9 壁紙張り（19.8.2）

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

10 断熱材打込み工法 [G]（19.9.2）

断熱材の種類　※　押出法ポリスチレンフォーム保温板２種ｂ　厚さ　※　２５㎜　・
・　押出法ポリスチレンフォーム保温板３種ｂ（土間下）　厚さ　※　２５㎜　・
・　硬質ウレタンフォーム保温板１種２号　厚さ　※　２０㎜　・
・　フェノールフォーム保温材Ａ種　厚さ　・
断熱補修材　・　断熱材と同材
※　吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

11 断熱材現場発泡工法 [G]（19.9.3）

ユリア樹脂又はメラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド
放散量　※　規制対象外　・　第三種
断熱材の種類　※　Ａ種１　・　Ｂ種１
厚さ　・　２５　・　３０　・
施工箇所　※　窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所
・　図示による

12 断熱材の原材料 [G]（19.9.2～3）

グラスウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８０%以上であること
ロックウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８５%以上であること
発泡断熱材　：オゾン層を破壊する物質を使用していないこと。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること

２０ ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア（20.2.2）

施工箇所		
構法	・パネル構法　・溝構法	・パネル構法　・溝構法
耐震性能	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
耐荷重性能	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法（㎜）		
高さ（㎜）	・　・	・　・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書１９章内装工事による

配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※　２０～３０%　・
配線取り出し開口　※　パネル１枚につき４０㎜ｘ８０㎜程度の開口１ヶ所以上　・　図示による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※　なし
・　有り　（　※　固定式　・　可変式）：　施工箇所（　※　図示による　・　）
耐荷重性能（５０００Ｎ、高さ３００以上）の性能
平成元年建設省告示第１３２２号「耐震性フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする
ローリングロード性能　※　適用する　・　適用しない
以下（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）
ローリングロード試験
耐荷重性能（３０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎの際、最大変形量１．５㎜以下
耐荷重性能（５０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎ以上の際、最大変形量１．０㎜以下
（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）

2 可動間仕切（20.2.3）

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※ スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）　・スタッドパネル式
構成材の種類　※　図示による
表面材質及び厚さ（㎜）　※　鋼板０．６　・　鋼板０．８
パネル表面仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（　※　常備色　・　指定色　）
パネル総厚さ（㎜）　・　程度
遮音性の区分　・　０　・　１２　・　２０　・　２８　・　３６
防火性能　・　不燃

3 移動間仕切（20.2.4）

パネルの操作方法による種類　・　製造所の仕様による　・　図示による
表面材質及び厚さ（㎜）　※　鋼板０．６　・
仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（　※　常備色　・　指定色　）
パネル厚さ（㎜）　・　程度
パネル圧接装置の操作方法　・　製造所の仕様による　・　図示による
遮音性の区分　・　３６未満　・　３６以上（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

4 トイレブース（20.2.5）

表面材　※　メラニン樹脂系化粧板　・　ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質形状　※　アルミＲエッジ
幅木材質　※　ステンレス幅木

5 階段滑止め（20.2.6）

材種　アルミ製（　・　埋込工法　※　接着工法　）
端部フラットエンド　※　有（　※　タイヤと同材　・　ステンレス鋼　）　・　無
型式　※　ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　幅（㎜）　※　約３５

6 黒板及びホワイトボード（20.2.8）

※　ホワイトボード　ほうろう　形状・寸法は図示による
・　黒板　※　焼き付け　色彩　※　緑　形状・寸法は図示による

7 鏡（20.2.9）

取付箇所　・　図示による　・　（　）
寸法（㎜）　・　図示による　・
厚さ（㎜）　※５　・
※　防蝕処理

8 表示（20.2.10）

・　案内板　・　庁舎案内板（　※　標準詳細図による　・　図示による　）
・　各階案内板（　※　標準詳細図による　・　図示による　）
・　視覚障害者用案内板（　※　共通詳細図による　・　図示による　）
・　室名札　※　標準詳細図による　・　市販品
・　ピクトグラフ　標準案内図用記号　※　ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・　図示による
形状・その他　※　図示による
・　庁名文字　※　標準詳細図による　・
・ 切抜文字（・ステンレス製・黄銅製）・ 箱文字（・ステンレス製・黄銅製）
字数（　）　文字の大きさ（　ｘ　）
・　対人衝突防止表示　・　図示による
・　非常用進入口　・　図示による
案内用図記号はＪＩＳ２８１０による

9 煙突ライニング（20.2.11）

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　※　４００℃　・　６５０℃
キャスタブル耐火材　工法　・　こて押さえ　・
最高温度　※　４００℃　・
製造所

10 ブラインド（20.2.12）

形式	・　横型ブラインド	・　縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・　アルミスラット　・　クロススラット
スラットの種類	※　ギア式　・　コード式	※　１本操作コード式
スラットの幅（㎜）	※　２５　・　３５	・　７５以上　・　１００

11 ロールスクリーン（20.2.13）

材種　遮光性能　・
品質
操作方法　・　電動式　・　プリング式　・　チェーン式

12 カーテン及びカーテンレール（20.2.14）

カーテン

施工箇所	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	開閉形式	カーテン操作方式
			・片引き　・引分	※手動　・電動

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物

暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

13 点検口

天井　材種　アルミニウム製　寸法（㎜）　※　４５０ｘ４５０　・　６００ｘ６００
形式　一般型　外枠　・　額縁タイプ　・　目地タイプ
内枠　・　額縁タイプ　・　目地タイプ
枠の許容差　±０．５㎜以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０㎜以内
材料の品質及び性能
外枠、内枠の材質
アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＣ－１種、Ｃ－２種（外部はＢ－１種、Ｂ－２種）
外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの
床　材種　アルミニウム製　寸法（㎜）　・　４５０ｘ４５０　※　６００ｘ６００
形式　※　屋内用一般型　・　密閉形
パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
枠の許容差　±０．５㎜以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０㎜以内
材料の品質及び性能
受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材
アルミニウム合金押出形材ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＡ－１種、Ａ－２種、Ｂ－１種、Ｂ－２種
開閉方式　施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式
その他　製造所の仕様による

14 鋼製書架及び物品棚

・　固定式（下記以外は図示による）
鋼製書架　※　ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・　法務省型
鋼製物品庫　・　ＪＩＳ　Ｓ１０４０による
・　移動式　形状等は図示による

15 くつふきマット

※　塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）ワンライン型
・　硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）
・　ステンレス製(ＳＵＳ３０４)（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）

16 フェンス

フェンスの種類　・　ビニル被覆エキスパンドフェンス　・　鋼管フェンス
・　樹脂塗装メッシュフェンス　・　アルミフェンス
高さ　・　図示による　・

17 天井見切り縁

材種　※　アルミニウム既製品　・　ビニル既製品

18 ピクチャーレール

※　見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　ヶ／ｍ　安全荷重　※　１５kg以上　・

19 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・　レジンコンクリート製（厚さ６０㎜）　・　磁器質タイル製

表面形状ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※　３００ｘ３００　・
色　黄色

20 旗竿

形式　・　ロープ式（テーパー式）
※　ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）
材種　・　アルミニウム合金　・
高さ（ｍ）　・
旗竿受金物　※　ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製　・

21 既製家具

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

22 車止め柵

形　式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（㎜）	備考
・　上下式内蔵式 （・標準品　・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式） ・	・　ステンレス製 ・	・　φ76.3　ｔ＝2.0 ・	・　ＧＬ＋700	

23 アスベスト成形板の処理工事

※　県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名	厚さ（㎜）	処理を行う範囲

施工調査
※　行う　・　行わない
石綿作業主任者
特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から選任する。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材については、排出事業者は特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

官公署その他への手続き
改修標準仕様書(9.1.3(b)(2))によるほか、次の必要な手続きを行う
（１）建築物解体等作業届（所管労働基準監督署）
（２）特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書（都道府県知事又は市長）
安全衛生管理
洗浄設備
（ⅰ）洗眼、うがいの設備を設ける
（ⅱ）更衣設備等を設ける
表示・掲示
改修工事標準仕様書(9.1.2(c)(4))による表示・掲示を行う。
作業場の養生
処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉塵飛散を防止する。
対象室（　）
改修工事標準仕様書（9.1.2(c)(4)）による表示・掲示を行う。
除去物及び汚染物の処分等
保温材については、改修工事標準仕様書（9.1.2(d)(2)）による。

２１ 排水工事

1 排水管（21.2.1）

遠心力鉄筋コンクリート　表21.2.1
種類　※　外圧管Ｂ形１種　・
継手　※　ゴム接合　・　モルタル接合
硬質ポリ塩化ビニル管
・　ＶＰ
・　ＶＵ
・　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＳ－ＶＵ）[G]
建物外での硬質塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で３０%以上使用されていること

2 側塊、排水枡等（21.2.2）

鋳鉄製ふた
型式　※　水封型　・　簡易密閉型　・　密閉型　・　中ふた付密閉型
適用荷重（安全荷重〔ｋＮ〕）
屋内用　・　Ｔ－２用（５）
屋外用　・　Ｔ－２用（５）　※　Ｔ－６用（１５）　・　Ｔ－２０用（５０）
鍵　・　有　・　無
グレーチング

種類	形式	用　途	適用荷重	メンバーピッチ 普通目	メンバーピッチ 細目	上面形状
・　鋼製	・受枠付 ・ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用			※　凹凸形
・　ステンレス製	・受枠付 ・ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用			・　凹凸形 ・　平形

２２ 舗装工事

1 路床（22.2.2～5）

路床の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
盛土に用いる材料（表３．２．１による）
・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種
・　建設汚泥から再生した処理土 [G]
支持力比（ＣＢＲ）試験
※　行わない　・　行う（　※　乱した土　・　乱さない土　）
締固め度の試験
※　行わない　・　行う
砂の粒度試験
※　行わない　・　行う

2 路盤（22.3.2～5）

路盤の構成　※　標準詳細図による　・　図示による　表22.3.3
路盤材料　※　再生材クラッシャラン[G]　・　クラッシャラン鉄鋼スラグ[G]
締め固め度試験
※　行わない　・　行う
砂の粒度試験
※　行わない　・　行う

3 アスファルト舗装（22.4.2～6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト　※　再生アスファルト[G]　・　ストレートアスファルト
骨材　※　砕石　・　アスファルトコンクリート再生骨材 [G]
※　アスファルト舗装
加熱アスファルト混合物等の種類
※　表層　※　密粒度アスファルト混合物（１３）
・　細粒度アスファルト混合物（１３）
・　基層　・　粗粒度アスファルト混合物（２０）
・　カラー舗装
種類　※　表層に着色した加熱アスファルト混合物
・　表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・　表層の上に常温塗布式舗装又はニート工法による樹脂系舗装
カラー舗装に添付する着色骨材
・　有色骨材（材質＜　＞）
・　着色骨材（材質＜　＞）
シールコート　※　行わない　・　行う
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

4 コンクリート舗装（22.5.2～6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
溶接金網　※　使用する（１５０Ｘ１５０Ｘ６φ）　・　使用しない
コンクリート版の厚さの試験　※　行わない　・　行う

5 カラー舗装（22.6.2～6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
車道部の基層　・　有　・　無
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

6 透水性アスファルト舗装 [G]（22.7.2～6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

7 排水性アスファルト舗装 [G]（22.8.2～6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

8 ブロック系舗装（22.9.2～3）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
※　インターロッキングブロック[G]　表22.8.1
材質（　※　コンクリート　・　）　種類（　※　普通　・　透水性　・　植生用　）
形状（　・　長方形　・　正方形　・　六角形　）　厚さ（　・　６０　・　８０　・　１００　）
表面加工　・　ショット仕上げ
クッション材　※　空練りモルタル　・　砂
・　再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）
再生材料が原材料の重量比で２０%以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等に

9 区画線

※　路面表示用塗料（ＪＩＳ　Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）
・　１種[G]　・　２種[G]　※　３種１号
・　低揮発性有機溶剤型の路面表示用塗料 [G]
水性型の路面表示用塗料であって、揮発性有機溶剤（ＶＯＣ）の含有率（塗料総質量に対する揮発性溶剤の質量の割合）が５%以下であること
色　※　白　塗布幅　※　図示による　塗布厚さ　※　１．０

２３ 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認（23.1.3）

土壌の水素イオン濃度（ｐｈ）試験　・　行う　※　行わない
水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・　行う　※　行わない

2 植栽基盤の整備（23.2.2～4）

排水　・ 設置する(・暗きょ　・閉きょ　・排水層　・縦穴排水　)　・　設置しない
水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・　行う　※　行わない
整備工法　表23.2.2
樹木　・　行う（　※　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　）　※　行わない
芝及び地被類　※　行う（　※　Ｂ種　・　）　・　行わない
植込み用土
※　現場発生土の良質土　・　客土

3 支柱材（23.3.2）

※　丸太（間伐材）[G]　・真竹

4 新植樹木の枯補償（23.3.4）

※　１年間　・

5 新植樹木の枯損処理（23.3.6）

※　１年間　・

6 屋上緑化 [G]（23.5.2～3）

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・　図示　・
排水層　・　軽量骨材（層の厚さ：　）　・　板状成形品
植込用土　※　改良土　・　人工軽量土
樹木の材種、寸法、株立数等　※　図示　・
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※　図示　・
見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※　図示　・

９ 環境配慮改修工事（アスベスト含有建材の処理工事）

※ 共通仕様は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成２５年度版」による。

1 一般事項

・　法令等の遵守　(9.1.1)
・　大気汚染防止法
・　鳥取県石綿による健康被害を防止するための緊急措置に関する条例(以下「県条例」という)
・　石綿則予防規則（以下「石綿則」という）
・　非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する基準(平成17年3月30日環境省通知)
・　関係法令等に基づく届出を行うこと
・　作業の実施の届出（保健所長）　県条例第７条
・　廃棄予定量等の届出　（保健所長）　県条例第10条
・　処理状況の報告（保健所長）　県条例第規則第9条
・　仕上工事(機能回復のための工事)　・　あり　・　なし
・　施工調査　調査結果は、図面により記録し、監督員提出する。
・　アスベスト粉じん濃度測定　・　監督員と協議の上、決定する(時期･場所･測定点数)

2 共通事項

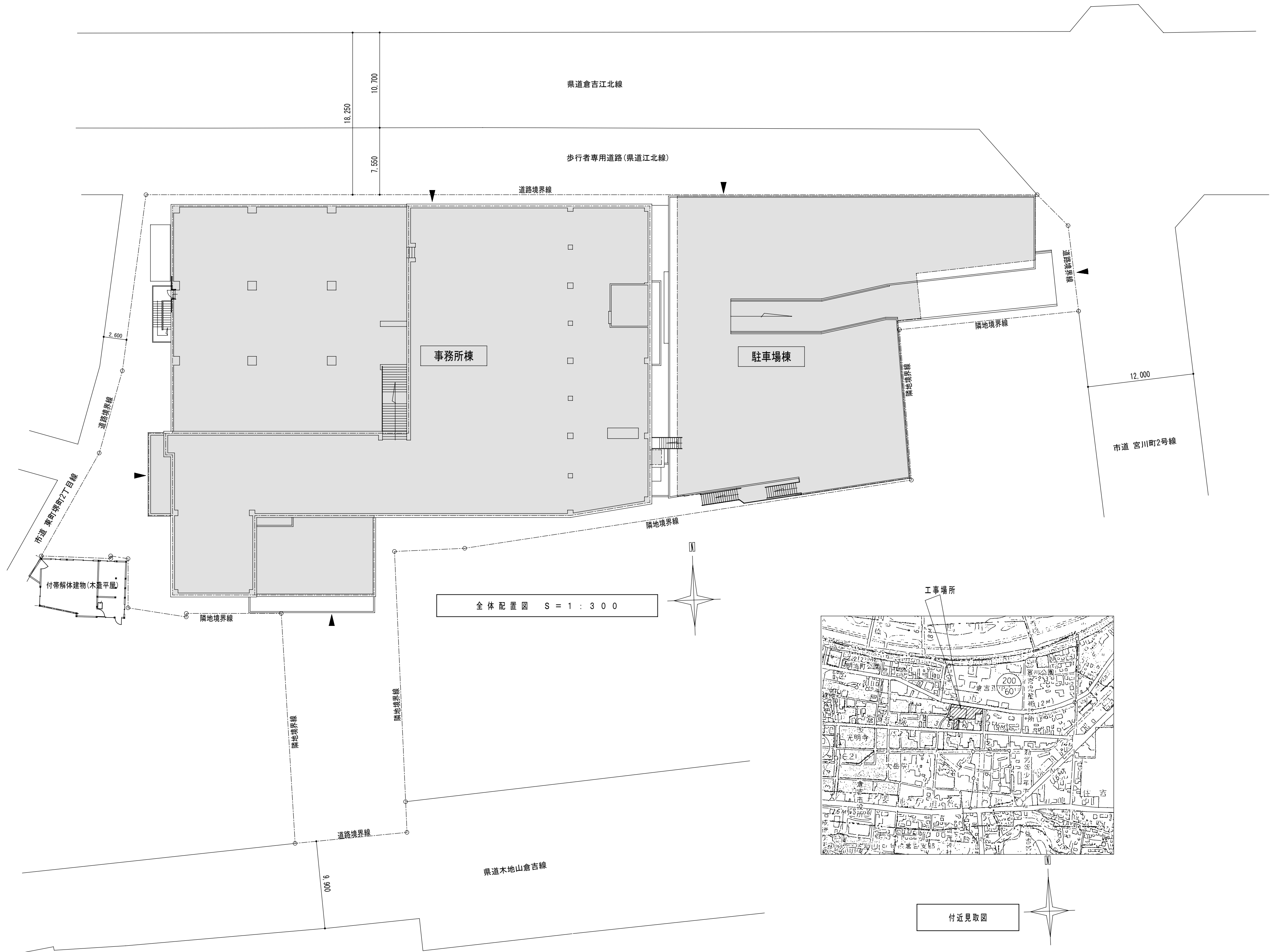
・　施工業者　(9.1.2)
・　県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録(除去作業レベル１)を行っている業者
・　除去作業者は、石綿則第27条に基づく特別の教育を受けた者であること
・　表示及び掲示（県条例施工規則第９条による）

3 吹付けアスベストの除去工事

・　作業場の隔離等　(9.1.3)参照
・　工法　(9.1.3)参照
・　除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等　(9.1.3)参照
・　確認及び後片付け　(9.1.3)参照

4 アスベスト成形板の除去工事

・　養生等　(9.1.5)参照
・　工法　(9.1.5)参照
・　除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等　(9.1.5)参照
・　確認及び後片付け　(9.1.5)参照

Designed by
〒６８２－０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７　ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５

県道倉吉江北線
歩行者専用道路(県道江北線)
道路境界線
18,250
10,700
7,550
事務所棟
駐車場棟
隣地境界線
12,000
市道 宮川町2号線
道路境界線
2,600
市道 東町堺町2丁目線
付帯解体建物(木造平屋)
全体配置図 S=1:300
工事場所
道路境界線
県道木地山倉吉線
9,900
付近見取図
Project
シビックセンターたからや解体工事
Title
配 置 図
1:300
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
NO
A-04

ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ(H=900)解体撤去
U字溝:W=250、犬走り、立上りｺﾝｸﾘｰﾄ解体撤去
A
道路境界線
CB(100t)塀:H=1400(解体撤去)
延べ長さ:10,900
冷凍機室
解体撤去
CB(100t)塀:H=1800(解体撤去)
延べ長さ:7,300
UP
解体撤去
CB(100t)土留め:H=400(解体撤去基礎共)
延べ長さ:7,300
2,600
道路境界線
事務所棟
駐車場棟
駐車場
隣地境界線
解体撤去
スロープ
UP
12,000
ﾎﾟｰﾁ2床(解体撤去基礎共)
ﾀｲﾙ張り:縁石　切石70×50
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石(撤去)
隣地境界線
CB(100t)土留め:H=400(解体撤去基礎共)
延べ長さ:15,400
2,080
隣地境界線
9,920
CB(100t)塀:H=2000(解体撤去)
階段A
ﾎﾟｰﾁ1床(解体撤去基礎共)
ﾀｲﾙ張り:縁石　切石70×50
隣地境界線
隣地境界線
B
B
道路境界線
凡例
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装：表層30ｔ＋砕石100t
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装：100ｔ＋砕石100t(駐車場棟以外)
N
外構撤去図　S＝1：250
8,000
AW:900×700
AW:1900×900
AW:1350×900
WC
座敷1
座敷2
店舗（土間）
カウンター
流し台(ﾓﾙﾀﾙ製)
厨房
AD:1689×1800
AD:600×1800
4,500
5,300
付帯建物平面図（解体撤去：木造平屋）S=1:100　41.64m²
屋根：長尺鉄板瓦棒葺き、小波鉄板葺き
外壁：小波鉄板一部ﾗｽﾓﾙﾀﾙ刷毛引き
内部床：土間　ﾓﾙﾀﾙ　座敷板張り
内部壁：合板及び左官仕上
内部天井：合板
2,240
6,400
冷凍機室平面図　S=1:100
事務所棟壁面
3,350
2,380
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝﾎﾞﾝﾍﾞ置場平面図　S=1:100
2,300
事務所棟壁面
ｺﾞﾐ置場
3,650
ゴミ置場平面図　S=1:100
900
250
100
当該建物
道路境界線
犬走りｺﾝｸﾘｰﾄ100t
北側境界犬走り、側溝断面図　S=1:50
(A-A断面)
東側:L=59.2m
※、土留めｺﾝｸﾘｰﾄ、犬走り、U字溝側溝とも撤去
ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ:600×900
ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ:1200×2000
CB100t化粧
冷凍機室西立面図　S=1:100
※撤去
ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ:1220×1820
屋根、壁：小波鉄板
CB100t化粧
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝﾎﾞﾝﾍﾞ置場東立面図　S=1:100
※撤去
屋根：小波鉄板(横ﾀﾙｷ40×20)
ﾀﾙｷ：55×55
母屋、束：90×90
CB100t化粧
ﾌｪﾝｽ扉
ゴミ置場東立面図
※撤去
150 300 120
40
鉄筋D10@100
ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ張り
縞鋼板4t
南側(東側、西側境界)塀断面図　S=1:50
(B-B断面)　東側:L=32m
西側:L=19.4m
※塀、側溝とも撤去
Project
シビックセンターたからや解体工事
Title
外構撤去図
S=1:250
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有)エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717　FAX 0858-23-5315
NO
A-05

工事用出入口
キャスターゲートW6.0m×H1.8m
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
道路境界線
止まれ
解体撤去
冷凍機室
解体撤去
駐車場
事務所棟
駐車場棟
工事用出入口
スロープ
キャスターゲートW6.0m×H1.8m
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
隣地境界線
仮囲い：単管組(H=3.0m)+養生シート貼
仮囲い：単管組+防炎Ⅱシート張りH=7.0m
仮設足場搬出入用出入口
キャスターゲートW3.0m×H1.8m
仮囲い：成形鋼板H=3.0m
隣地境界線
仮囲い：単管組+防炎Ⅱシート張りH=7.0m
仮囲い：成形鋼板H=3.0m（東端）
隣地境界線
仮囲い：成形鋼板H=3.0m
道路境界線
N
仮設計画図(1)　S＝1：250
Project　シビックセンターたからや解体工事
Title　第一工程仮設計画図（参考）
Designed by
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
NO
A-06

工事用出入口
キャスターゲートW6.0m×H1.8m
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
道路境界線
幅員 18.250
庇の出
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
道路境界線
12.000
プロパンボンベ置場
解体撤去
冷凍機室
解体撤去
2.600
1.500
道路境界線
事務所棟
隣地境界線
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
隣地境界線
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
仮設足場搬出入用出入口
キャスターゲートW3.0m×H1.8m
ゴミ置場
隣地境界線
仮囲い：成形鋼板H=2.0m
仮囲い：成形鋼板H=3.0m
隣地境界線
6.800
2.080
隣地境界線
隣地境界線
隣地境界線
道路境界線
幅員 9.900
N
仮設計画図（2） S＝1：250
Project
シビックセンターたからや解体工事
Title
第二工程仮設計画図（参考）
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2－52－1
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
D
C
NO
A-07

外 部 仕 上 表

部　位		部　位	
屋　上	一般部:アスファルト防水歩行用 (8層) ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ横型:10ヶ所、丸環sus製:43ヶ所 玄関、便所部:ﾛﾝﾌﾟﾙｰﾌ防水	軒　天	玄関部:LGS下地 便所部:LGS下地
外　壁	ALC125t＋吹付塗装	竪　樋	塩ビ　φ150、φ100　横型ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ
外壁(パラペット部)	ｺﾝｸﾘｰﾄ＋ﾓﾙﾀﾙ＋吹付塗装	ベランダ	床:防水モルタル金ｺﾃ押え 軒天:吹付塗装
基礎立上り	モルタル刷毛引	アルミサッシ	

内 部 仕 上 表

階	室　名	床	巾　木	壁	天井回り縁	天　井	備　考
1階	玄関ロビー	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ貼	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ巾木 H=75	モルタル金ｺﾃ押え+吹付塗装	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	1階事務所(旧店舗)	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ貼	ソフト巾木 H=75	モルタル金ｺﾃ押え+吹付塗装及びﾀｲﾙ張り	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	エスカレーター上り下り各１基
	A階段	塩ビタイル　モルタル30t下地		ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ﾋﾞﾆﾄｯﾌﾟﾃｽﾘ
	B 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	C 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	管理人室	モルタル金ｺﾃ押え30t	ソフト巾木 H=75	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	ホール・通路	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	EV１基
	機　械　室	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	便　所　A	モルタル金ｺﾃ押え30t	100角タイル	100角タイル	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	倉　　庫	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
2階	2階事務所(旧店舗)	塩ﾋﾞｼｰﾄ、塩ﾋﾞﾀｲﾙ　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	合板5.5t (木胴縁下地)	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	エスカレーター上り下り各１基
	A階段	塩ビタイル　モルタル30t下地	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ H=70	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ﾋﾞﾆﾄｯﾌﾟﾃｽﾘ
	B 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	C 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	男子便所	モザイクタイル	100角クタイル	100角クタイル 天井撤去跡上部:ALC板　素地	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	女子便所	モザイクタイル	100角クタイル	100角クタイル 天井撤去跡上部:ALC板　素地	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	EV１基
	ホール・通路	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	機　械　室	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
3階	3階旧店舗	塩ﾋﾞｼｰﾄ、塩ﾋﾞﾀｲﾙ　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	合板5.5t	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	エスカレーター上り下り各１基
	A階段	塩ビタイル　モルタル30t下地	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ H=70	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ﾋﾞﾆﾄｯﾌﾟﾃｽﾘ
	B 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	C 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	機　械　室	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	EV１基
	倉　　庫	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC板化粧	——	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁		天井	備考
4階	4階 旧 店 舗	塩ﾋﾞｼｰﾄ、塩ﾋﾞﾀｲﾙ　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	合板5.5t	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	エスカレーター上り下り各１基
	Ａ階段	塩ビタイル　モルタル30t下地	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ H=70	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	————	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ﾋﾞﾆﾄｯﾌﾟﾃｽﾘ
	Ｂ 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え	————	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	Ｃ 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え	————	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	男 子 便 所	モザイクタイル	100角タイル	100角クタイル 天井撤去跡上部:ALC板　素地	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	女 子 便 所	モザイクタイル	100角タイル	100角クタイル 天井撤去跡上部:ALC板　素地	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	機　械　室	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	倉　　庫	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC化粧	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	EV１基
5階	旧 飲 食 店 舗	塩ﾋﾞｼｰﾄ、塩ﾋﾞﾀｲﾙ　モルタル30t下地 厨房跡:ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ120t+モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	Ａ階段	塩ビタイル　モルタル30t下地	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ H=70	ALC素地	————	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ﾋﾞﾆﾄｯﾌﾟﾃｽﾘ
	Ｂ 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC化粧	————	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	Ｃ 階 段	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC化粧	————	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	ｽﾁｰﾙﾊﾟｲﾌﾟﾃｽﾘ 梁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ被覆
	男 子 便 所	モザイクタイル	100角タイル	100角クタイル 天井撤去跡上部:ALC板　素地	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	女 子 便 所	モザイクタイル	100角タイル	100角クタイル 天井撤去跡上部:ALC板　素地	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	電　気　室	モルタル金ｺﾃ押え30t	75角クタイル	ALC化粧	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	倉　庫　１	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC化粧	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	EV１基
	倉　庫　２	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	ALC化粧	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	倉　庫　３	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え	LGS下地+合板5.5t(北側) ALC下地+合板5.5t(東･南･西側)	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	会　議　室	塩ビタイル　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	ALC下地+化粧合板	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	食堂休憩室	塩ビタイル　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	ALC下地+化粧合板	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	事　務　室	塩ビタイル　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	ALC下地+化粧合板 ALC下地+ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ塗装	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
	湯　沸　室	塩ビタイル　モルタル30t下地	ソフト巾木 H=75	モルタル金ｺﾃ押え+塗装	————	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ化粧	
PH	EV機械室	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え30t	モルタル金ｺﾃ押え30t	————	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

事務所棟面積表（㎡）	
建　築　面　積	2167.16
1　階　床　面　積	2100.84
2　階　床　面　積	1996.71
3　階　床　面　積	1973.44
4　階　床　面　積	1996.71
5　階　床　面　積	1286.64
PH1階床面積	18.00
延　床　面　積	9372.34

既存１階平面図(事務所棟)　S＝１：２００

1階床面積2100.84㎡

Project　シビックセンターたからや解体工事

Title　既存１階平面図(事務所棟)　S=1:200

Designed by

〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１

（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858-22-7717　FAX 0858-23-5315

NO AJ-03

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	NO
Title	既存４階平面図(事務所棟)　S=1/500	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315	AJ-06

電気室ﾄﾗﾝｽPCB含有リスト

符号	機　種	メーカー・型式	製造番号	製造年	油　量	備　考
T-1	変圧器	東京芝浦電気 HCTR-S1	75002825	1975年	437ﾘｯﾄﾙ	PCB含有
T-2	変圧器	東京芝浦電気 HCR-S1	75003879	1975年	259ﾘｯﾄﾙ	
T-3	単相変圧器	三菱電機 SF式	126393	1971年	100ﾘｯﾄﾙ	PCB含有
T-4	三相変圧器	ダイヘン SP・PW1	P0623019	1991年	115ﾘｯﾄﾙ	
T-5	単相変圧器	三菱電機 SF-T式	180549	1991年	105ﾘｯﾄﾙ	
C-1	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	ニチコン AF702530KB7	B9P0430	1999年		
C-2	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	東京芝浦電気 BRTR-A6JR	試験番号 75500149	1975年		PCB含有
C-3	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	東京芝浦電気 BRTR-A6JR	試験番号 7550014	1975年		PCB含有

※PCB含有機器は、本工事の対象外とする。
但し、敷地内所定の位置(地上)までの運搬は本工事範囲内とする。

既存５階平面図(事務所棟)　S＝1：200

5階床面積1286.64㎡

Project シビックセンターたからや解体工事

Title 既存５階平面図(事務所棟)　S=1:200

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
(有)エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

D　C　NO AJ-07

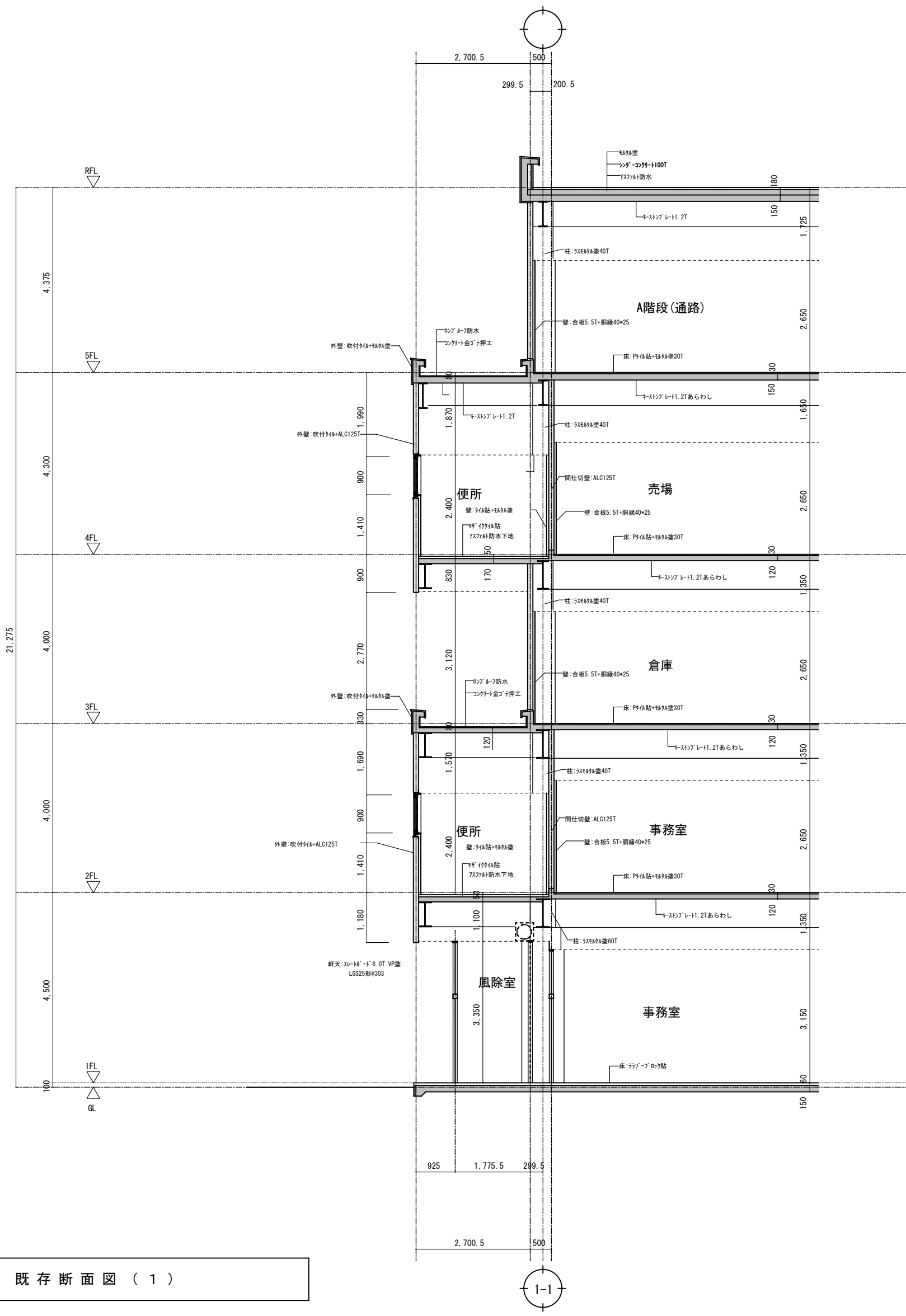
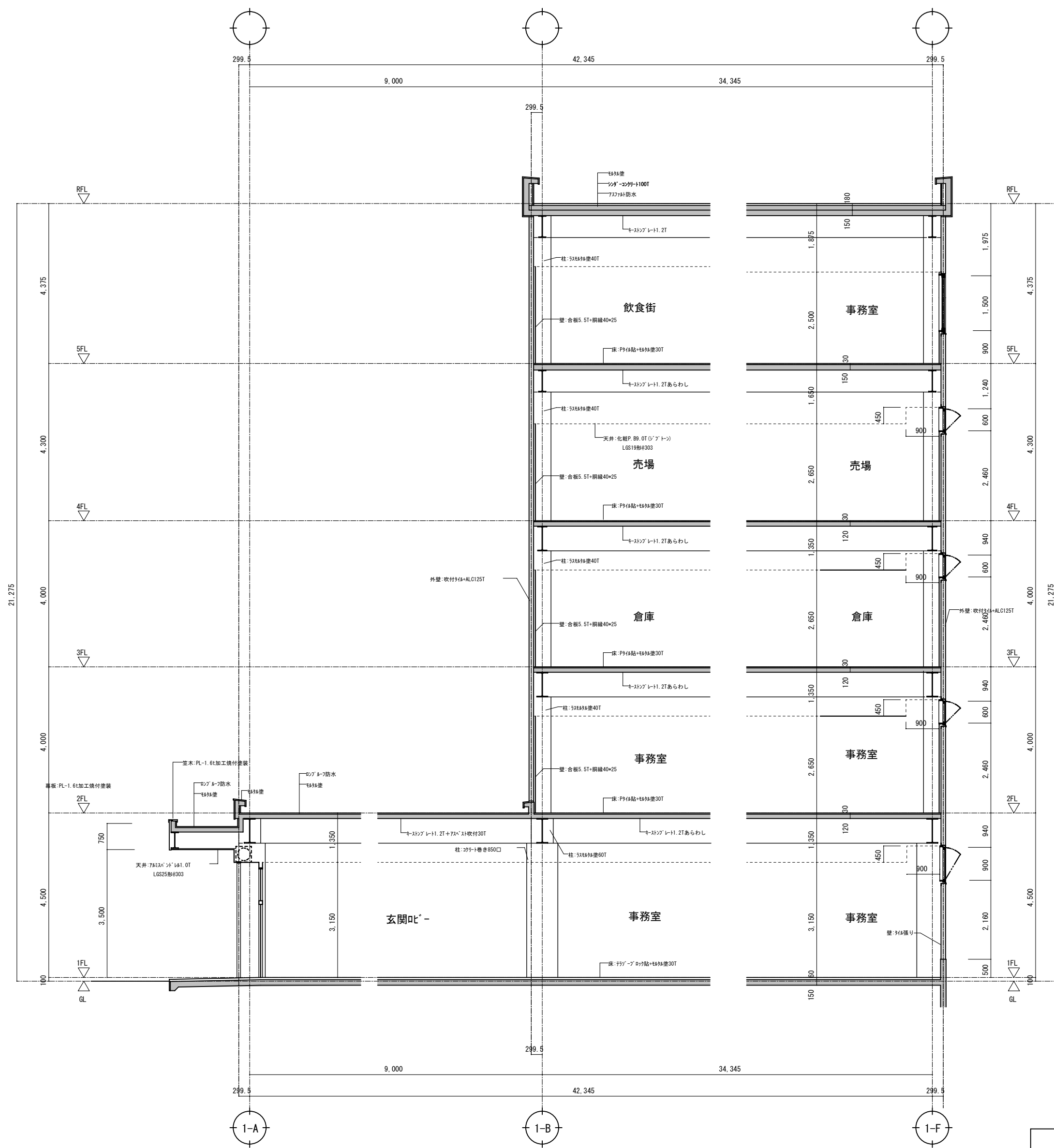
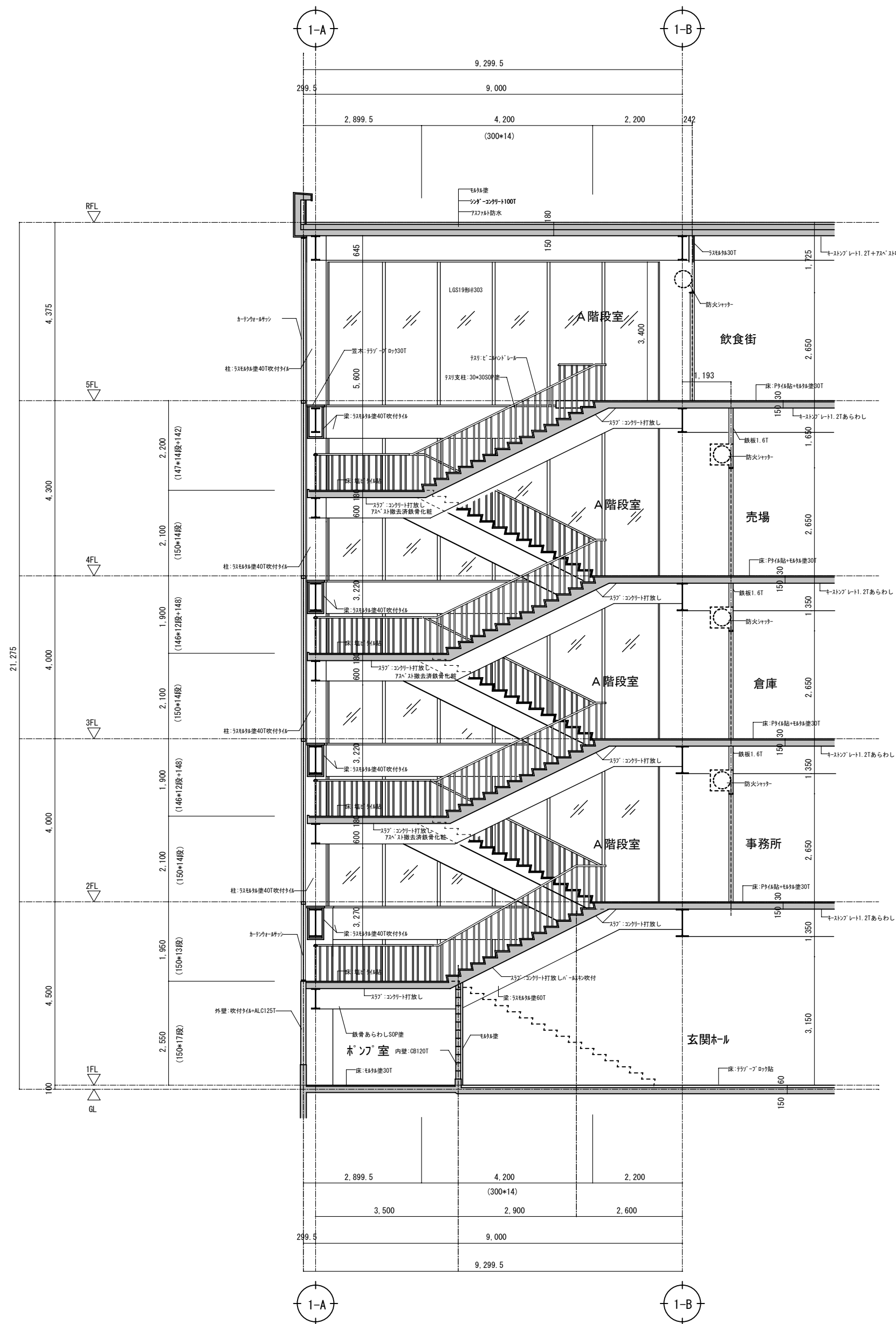
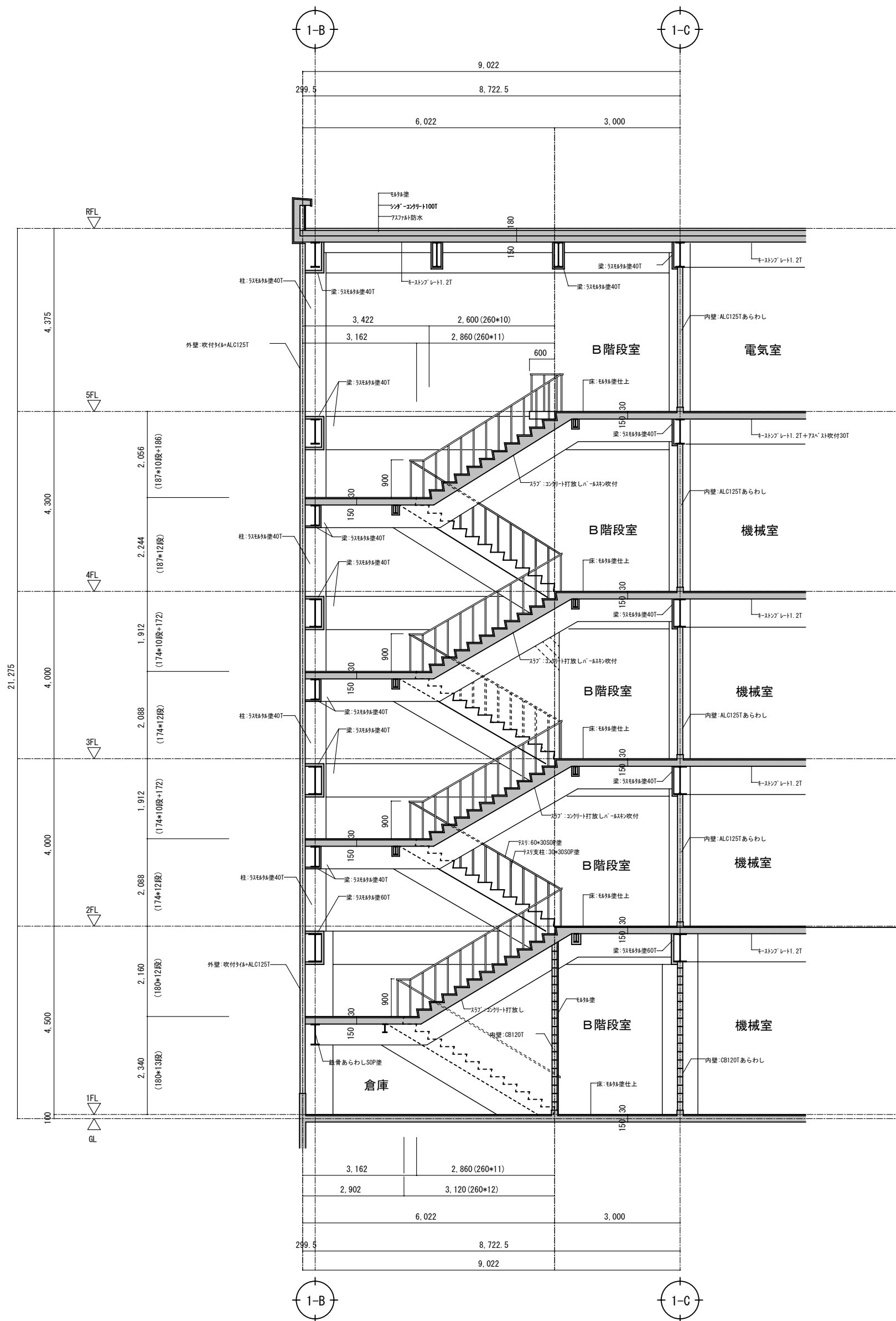
1-1
1-2
1-3
1-4
1-5
1-6
1-7
8,700.5
9,000
9,000
9,000
9,000
8,700.5
1-F
1-E
1-D
1-C
1-B
1-A
8,722.5
8,500
8,500
8,722.5
9,000
4,000
RC壁
ELV機械室
4,500
床:モルタル塗
鉄骨階段
E階段
DN
屋上広場B
既存PH1階平面図(事務所棟) S=1:200
PH 1階床面積18.00㎡
Project
シビックセンターたからや解体工事
Title
既存PH1階平面図(事務所棟)
S=1:200
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有) エイディエム設計研究室
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
NO
AJ-08

既存立面図(事務所棟) S=1:250

記号	既存仕上	備考	記号	既存仕上	備考	記号	既存仕上	備考
1	屋上:ｱｽﾌｧﾙﾄ防水＋ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ100t		5	外壁・パラペット:ｺﾝｸﾘｰﾄ下地ﾓﾙﾀﾙ＋吹付塗装		9	ﾀﾞｸﾄ:亜鉛鍍鉄板150H	
2	屋上:ﾛﾝﾌﾟﾙｰﾌ防水		6	縦樋:VP150＋susｱﾝｺｰ450×450		10		
3	鉄骨あらわし SOP塗		7	軒裏:JGS下地のまま				
4	ALC板125t＋吹付塗装		8	屋根:折版150H				

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	立 面 図 S=1:250	〒682－0881 鳥取県倉吉市宮川町2－52－1	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315			AJ-09

Project	シビックセンターたからや解体工事
Title	既存断面図（１）　S=1:100
Designed by	(有）エイディエム設計研究室
NO	AJ-10

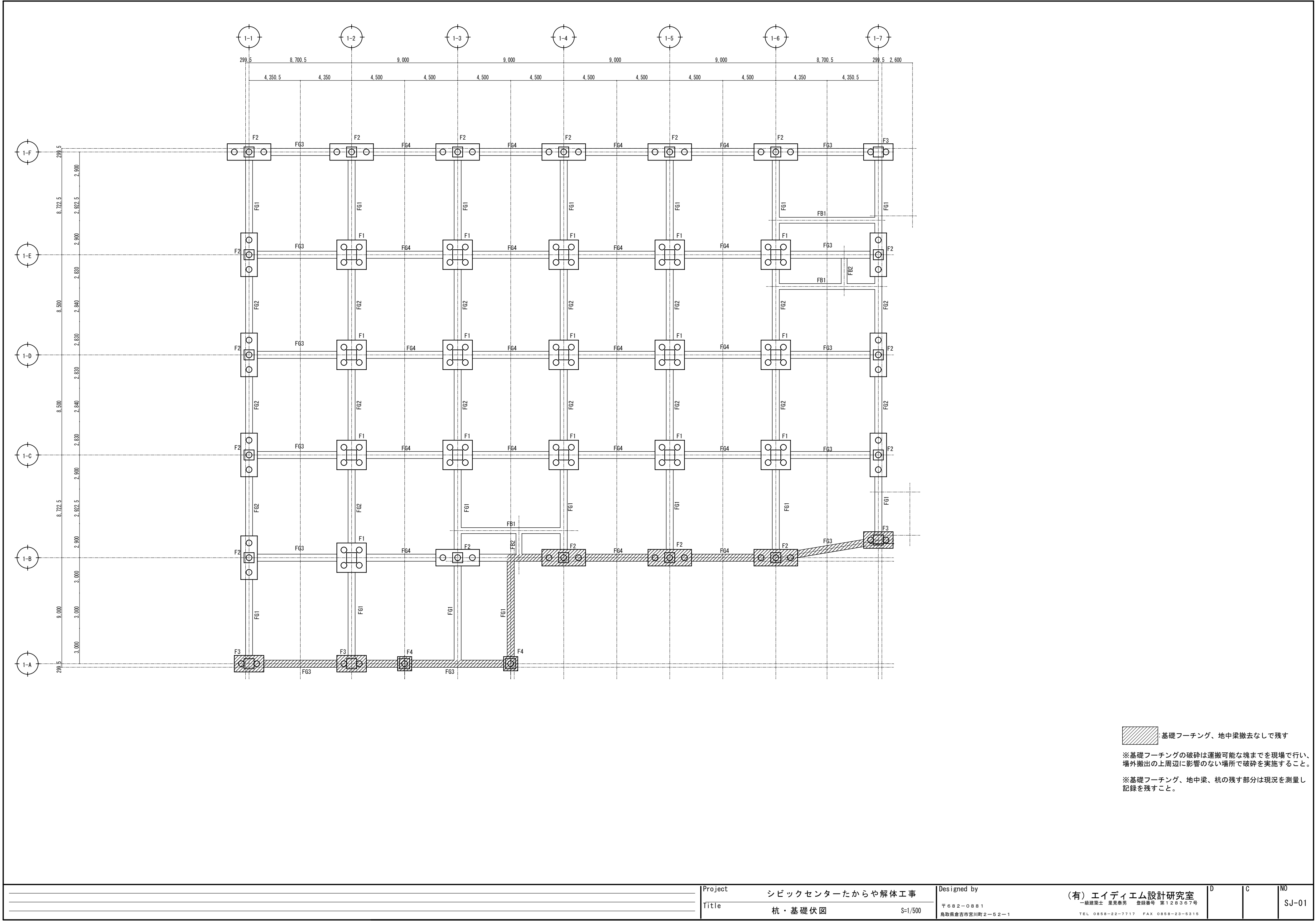
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315

符号	型　式	寸　法		数量	ガラス等	備　考
		W	H			
AW 1	アルミカーテンウォール	7700	18140	1	線入り磨き板ガラス　6.8t	縦桟5通り　横桟4段+L1200　32段
AW 2	アルミカーテンウォール	7900	18140	1	線入り磨き板ガラス　6.8t	縦桟5通り　横桟4段+L1200　32段
AW 3	アルミカーテンウォール	4250 12730	12000 16250	1	線入り磨き板ガラス　6.8t	縦桟3通り　横桟5段 縦桟8通り　横桟7段
AW 4	アルミFIX窓	3600	2600	1	線入り磨き板ガラス　6.8t	
AW 5	アルミ排煙窓(内倒し)8連窓	8300	900	5	アルミパネル	
AW 6	アルミ排煙窓(内倒し)8連窓	8300	600	21	アルミパネル	
AW 7	アルミFIX窓	500	1500	8	線入り磨き板ガラス　6.8t	
AW 8	アルミFIX窓(2段窓)	500	3100	14	線入り磨き板ガラス　6.8t	
AW 9	アルミ排煙窓(内倒し)2連窓	1100	750	1	アルミパネル	
AW 10	アルミ引違窓 (2連窓+FIX)	4800	1300	1	FL-5	
AW 11	アルミ引違窓 (2連窓)	3500	1300	4	FL-5	
AW 12	アルミ引違窓 (4連窓)	8300	1500	2	FL-5	
AW 13	アルミ引違窓	1700	1500	8	FL-5	
AW 14	アルミ引違窓 (2連窓)	2870	900	2	RW-6.8	
AW 15	アルミ引違窓	1700	900	3	RW-6.8	
AW 16	アルミ引違窓 (H=1200窓+H=1850テラス戸)	3500	1200・1850	4	RW-6.8	
AW 17	アルミ引違窓	1100	750	1	RW-6.8	
AD 1	アルミ両開き戸	8000	3000	1	ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞｱ(8枚)+FL-5(ﾗﾝﾏ)	
AD 2	アルミ両開き戸 (両コーナー袖付)	1000+4500+1700	3250	1	ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞｱ(4枚)+框戸(1枚)+FL-5(ﾗﾝﾏ)	
AD 3	アルミ両引き戸	3700	2300	1	ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞｱ(2枚)+FL-5(FIX部)	自動ドア
AD 4	アルミ片引き戸	1900	2000	1	化粧鋼板+S-3(中抜き窓)	
AD 5	アルミ片開き戸	800	2000	1	框ﾄﾞｱ (ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ上下共)	
AD 6	アルミ片開き戸	800	1900	3	框ﾄﾞｱ+腰ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ+上部FL-5	
AD 7	アルミ片開き戸	800	2000	1	框ﾄﾞｱ+腰ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ+上部FL-5	
SS 1	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3900	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 2	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3900	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 3	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3700	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 4	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3150	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	

符号	型　式	寸　法		数量	ガラス等	備　考
		W	H			
SS 5	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	4000	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 6	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	4150	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 7	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3200	3150	1	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 8	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3700	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 9	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3150	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 10	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	4000	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 11	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	4150	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 12	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3200	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 13	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3760	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 14	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3930	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SS 15	ｽﾁｰﾙｼｬｯﾀｰ(電動)	3930	2650	3	ｽﾁｰﾙｽﾗｯﾄ0.8t	
SD 1	両開きﾄﾞｱ	1600	2000	1	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 2	両開きﾄﾞｱ	1800	1500	1	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 3	片開きﾄﾞｱ	800	2000	5	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 4	両開きﾄﾞｱ(中抜き窓付)	2450	2000	1	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 5	両開きﾄﾞｱ(中抜き窓付)	2600	2000	1	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 6	両開きﾄﾞｱ	1200	1500	1	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 7	片開きﾄﾞｱ (避難用)	1600	2000	8	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 8	両開きﾄﾞｱ	1700	2000	17	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 9	片開きﾄﾞｱ	1070	1500	3	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 10	両開きﾄﾞｱ(中抜き窓付)	1700	2000	2	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 11	片開きﾄﾞｱ	880	2000	2	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ	
SD 12	両開きﾄﾞｱ(框)	1600	2000	1	ｽﾁｰﾙ框戸	
SD 13	片開きﾄﾞｱ(框戸)	880	2000	1	ｽﾁｰﾙ框戸	
SD 14	親子開きﾄﾞｱ(片側ｶﾞﾗﾘ戸))	1200	1950	1	ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ(中抜き窓付) 小扉(ｶﾞﾗﾘ戸)	
SG 1	ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ(固定)	1700	2400	4		
SG 2	ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ(固定)	1100	600	10		
SG 3	ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ(固定)	500	750	1		

Project　シビックセンターたからや解体工事

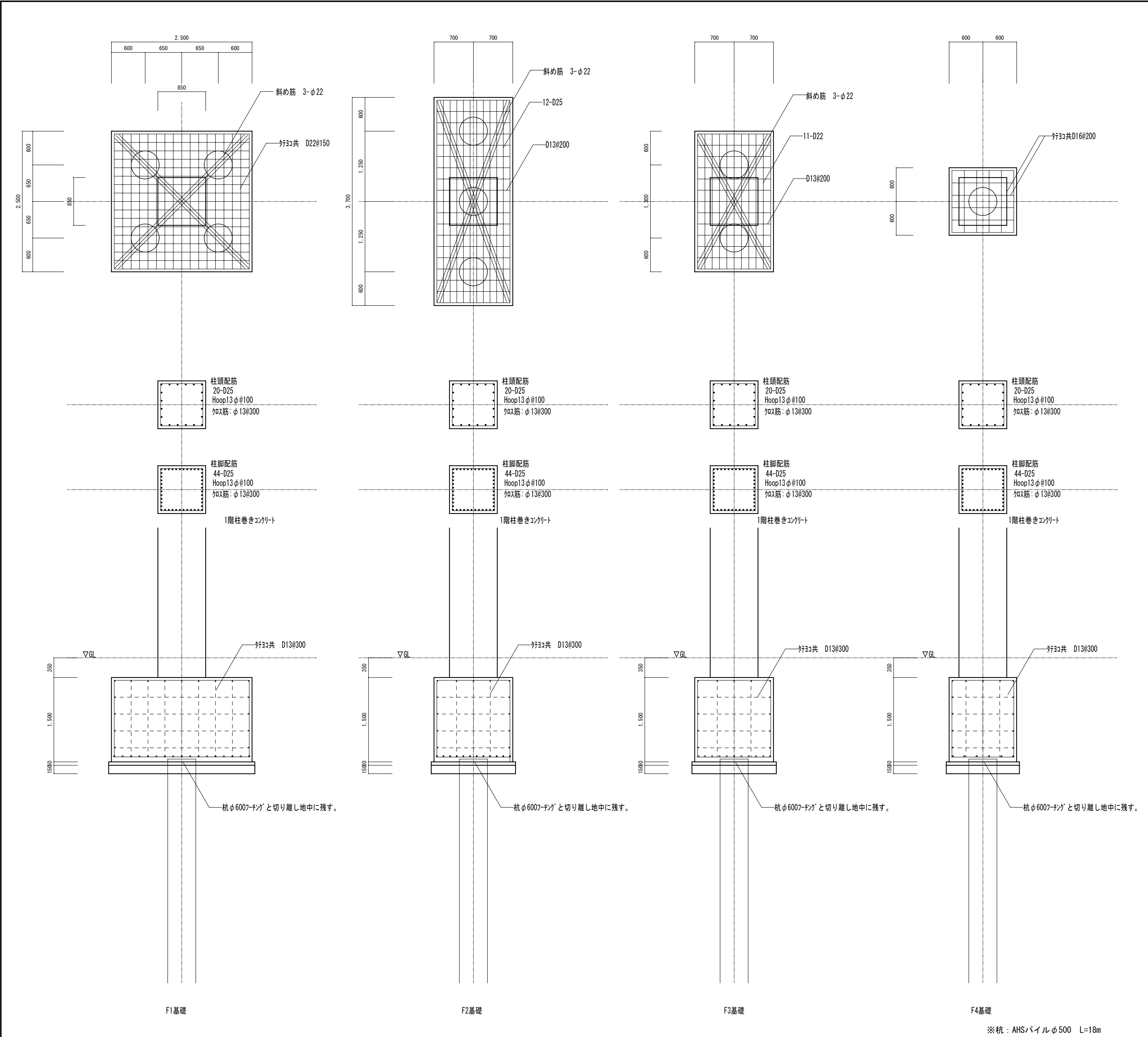
Title　建具リスト

Designed by
〒６８２−０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　　登録番号　第１２８３６７号
ＴＥＬ　０８５８−２２−７７１７　ＦＡＸ　０８５８−２３−５３１５

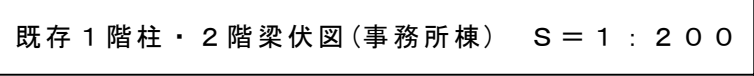
D　C　NO AJ-12

:基礎フーチング、地中梁撤去なしで残す

※基礎フーチングの破砕は運搬可能な塊までを現場で行い、場外搬出の上周辺に影響のない場所で破砕を実施すること。

※基礎フーチング、地中梁、杭の残す部分は現況を測量し記録を残すこと。

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	杭・基礎伏図 S=1/500	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号 TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315			SJ-01

地中梁リスト

	外端	中央	内端
	600×1500	600×1500	600×1500
FG1	9-D22	5-D22	7-D22
	4-D13	4-D13	4-D13
	st13φ@200	st13φ@200	st13φ@200
	9-D22	5-D22	7-D22
	600×1500	600×1500	600×1500
FG2	7-D22	4-D22	7-D22
	4-D13	4-D13	4-D13
	st13φ@200	st13φ@200	st13φ@200
	7-D22	4-D13	7-D22
	600×1500	600×1500	600×1500
FG3	7-D22	5-D22	9-D22
	4-D13	4-D13	4-D13
	st13φ@200	st13φ@200	st13φ@200
	7-D22	5-D22	9-D22
	600×1500	600×1500	600×1500
FG4	7-D22	4-D22	7-D22
	4-D13	4-D13	4-D13
	st13φ@200	st13φ@200	st13φ@200
	7-D22	4-D13	7-D22
	600×1500	600×1500	600×1500
FG5	9-D22	9-D22	9-D22
	4-D13	4-D13	4-D13
	st13φ@200	st13φ@200	st13φ@200
	4-D22	4-D22	4-D22
	500×1500	500×1500	500×1500
FB1	4-D22	4-D22	4-D22
	4-D13	4-D13	4-D13
	st13φ@250	st13φ@250	st13φ@250
	7-D22	7-D22	7-D22
	300×1000	300×1000	300×1000
FB2	4-D22	4-D22	4-D22
	2-D13	2-D13	2-D13
	st13φ@300	st13φ@300	st13φ@300
	4-D22	4-D22	4-D22

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	（有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	基礎・地中梁リスト S=1/50	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号 TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315			SJ-02

記号	メンバーリスト
1C1	H-400×400×13×21 柱頭CPL-22 RC-850×850
1C2	H-400×400×13×21 柱頭CPL-22
1C3	H-400×400×13×21 柱頭CPL-22
1P1	H-200×200×8×12
1P2	H-150×150×7×10
2G1	BH-675×400～300×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-675(488)×300×11×18
2G2	BH-675×358～300×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-675(488)×300×11×18
2G3	BH-675×358～200×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-675(500)×200×10×16
2G4	BH-675×358～300×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-675(488)×300×11×18
2B1	ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-675(500)×200×10×16
2B2	H-200×100×5.5×8
2B3	H-588×300×12×20
2B4	ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-650(588)×300×12×20
2B5	H-300×150×6.5×9
2B6	H-350×175×7×11
2B7	2H-300×300×10×15
2B8	ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ H-650(588)×300×12×20
KB1	H-500×200×10×16
KB2	H-500×200×10×16
KB3	H-200×100×5.5×8
ｽﾗﾌﾞ	ｷｰｽﾄﾝﾌﾟﾚｰﾄ1.2T及びｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ

スラブリスト

			短辺方向		長辺方向	
符 号	ｽﾗﾌﾞ厚		端 部	中 央	端 部	中 央
PH RS2	t=150	上	9φ@200	9φ@400	9φ@200	9φ@200
		下	9φ@400	9φ@200	9φ@400	9φ@200
RS1 5S3	t=150	上	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
PH RS1 RS2 5S2	t=150	上	9φ@150	9φ@300	9φ@150	9φ@300
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S1	t=150	上	9,13φ@200		9φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9φ@400
2,3,4,S1	t=120	上	9,13φ@200		9,13φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
2,3,4,S2	t=120	上	9φ@150		9φ@150	
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S4 便所持出ｽﾗﾌﾞ	t=150	上	9,13φ@150	9,13φ@150	9φ@250	9φ@250
		下	9φ@150	9φ@150	9φ@250	9φ@250

Project シビックセンターたからや解体工事
Title 既存１階柱・２階梁伏図 メンバーリスト S=1:200

Designed by
〒６８２－０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号
TEL ０８５８－２２－７７１７ FAX ０８５８－２３－５３１５

D C NO SJ-03

記号	メンバーリスト
2C1	H-400×400×13×21　CPL-22
2P1	H-200×200×8×12
2P2	H-150×150×7×10
3G1	BH-675×400〜300×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-675(488)×300×11×18
3G2	BH-675×358〜300×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-675(488)×300×11×18
3G3	BH-675×358〜200×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-675(500)×200×10×16
3B1	ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-675(500)×200×10×16
3B2	H-200×100×5.5×8
3B3	H-588×300×12×20
3B4	ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-650(588)×300×12×20
3B5	H-300×150×6.5×9
3B6	H-350×175×7×11
3B7	2H-300×300×10×15
KB1	H-500×200×10×16
KB2	H-500×200×10×16
KB3	H-200×100×5.5×8
ｽﾗﾌﾞ	ｷｰｽﾄﾝﾌﾟﾚｰﾄ1.2T及びｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ

スラブリスト

符　号	ｽﾗﾌﾞ厚		短辺方向 端　部	短辺方向 中　央	長辺方向 端　部	長辺方向 中　央
PH　RS2	t=150	上	9φ@200	9φ@400	9φ@200	9φ@200
		下	9φ@400	9φ@200	9φ@400	9φ@200
RS1 5S3	t=150	上	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
PH　RS1 RS2 5S2	t=150	上	9φ@150	9φ@300	9φ@150	9φ@300
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S1	t=150	上	9,13φ@200		9φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9φ@400
2,3,4,S1	t=120	上	9,13φ@200		9,13φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
2,3,4,S2	t=120	上	9φ@150		9φ@150	
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S4 便所持出ｽﾗﾌﾞ	t=150	上	9,13φ@150	9,13φ@150	9φ@250	9φ@250
		下	9φ@150	9φ@150	9φ@250	9φ@250

記号	メンバーリスト
3C1	H-400×400×13×21　CPL-19
3P1	H-200×200×8×12
3P2	H-150×150×7×10
4G1	BH-675×400～200×9×19 ハニカムビーム　H-675(500)×200×10×16
4G2	BH-675×358～200×9×16 ハニカムビーム　H-675(500)×200×10×16
4G3	BH-675×358～200×12×19 ハニカムビーム　H-675(500)×200×10×16
4B1	ハニカムビーム　H-675(500)×200×10×16
4B2	H-200×100×5.5×8
4B3	H-588×300×12×20
4B4	ハニカムビーム　H-650(588)×300×12×20
4B5	H-300×150×6.5×9
4B6	H-350×175×7×11
4B7	2H-300×300×10×15
4B8	H-300×150×6.5×9
KB1	H-500×200×10×16
KB2	H-500×200×10×16
KB3	H-200×100×5.5×8
スラブ	キーストンプレート1.2T及びコンクリートスラブ

スラブリスト

符　号	スラブ厚		短辺方向 端　部	短辺方向 中　央	長辺方向 端　部	長辺方向 中　央
PH　RS2	t=150	上	9φ@200	9φ@400	9φ@200	9φ@200
		下	9φ@400	9φ@200	9φ@400	9φ@200
RS1 5S3	t=150	上	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
PH　RS1 RS2 5S2	t=150	上	9φ@150	9φ@300	9φ@150	9φ@300
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S1	t=150	上	9,13φ@200		9φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9φ@400
2,3,4,S1	t=120	上	9,13φ@200		9,13φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
2,3,4,S2	t=120	上	9φ@150		9φ@150	
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S4 便所持出スラブ	t=150	上	9,13φ@150	9,13φ@150	9φ@250	9φ@250
		下	9φ@150	9φ@150	9φ@250	9φ@250

Project　シビックセンターたからや解体工事　1:200
Title　既存階柱・４階梁伏図　メンバーリスト　S=1:200

Designed by
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
TEL　0858－22－7717　FAX　0858－23－5315

D
C
NO
SJ-05

記号	メンバーリスト
4C1	H-400×400×13×21　CPL-16
4P1	H-200×200×8×12
4P2	H-150×150×7×10
5G1	BH-600×400～200×9×16 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-600(450)×200×9×14
5G2	BH-600×358～200×9×16 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-600(450)×200×9×14
5G3	BH-600×358～200×9×16 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-600(450)×200×9×14
5B1	ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-600(450)×200×9×14
5B2	H-200×100×5.5×8
5B3	H-600×200×11×17
5B4	H-300×150×6.5×9
KB1	H-500×200×10×16
KB2	H-500×200×10×16
KB3	H-200×100×5.5×8
ｽﾗﾌﾞ	ｷｰｽﾄﾝﾌﾟﾚｰﾄ1.2T及びｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ

スラブリスト

			短辺方向		長辺方向	
符　号	ｽﾗﾌﾞ厚		端　部	中　央	端　部	中　央
PH　RS2	t=150	上	9φ@200	9φ@400	9φ@200	9φ@200
		下	9φ@400	9φ@200	9φ@400	9φ@200
RS1 5S3	t=150	上	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
PH　RS1 RS2 5S2	t=150	上	9φ@150	9φ@300	9φ@150	9φ@300
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S1	t=150	上	9,13φ@200		9φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9φ@400
2,3,4,S1	t=120	上	9,13φ@200		9,13φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
2,3,4,S2	t=120	上	9φ@150		9φ@150	
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S4 便所持出ｽﾗﾌﾞ	t=150	上	9,13φ@150	9,13φ@150	9φ@250	9φ@250
		下	9φ@150	9φ@150	9φ@250	9φ@250

Project　シビックセンターたからや解体工事

Title　既存４階柱・５階梁伏図　メンバーリスト　S=1:200

Designed by
〒６８２－０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７　ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５

D

C

NO　SJ-06

記号	メンバーリスト
5C1	H-400×400×13×21　CPL-12
5P1	H-200×200×8×12
5P2	H-150×150×7×10
RG1	BH-600×400～200×9×16 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-600(450)×200×9×14
RG2	BH-600×358～200×9×16 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-600(450)×200×9×14
RG3	BH-675×358～300×12×19 ﾊﾆｶﾑﾋﾞｰﾑ　H-675(488)*300*11*18
RB1	H-600×200×11×17
RB2	H-200×100×5.5×8
RB3	H-500×200×10×16
RB4	H-500×200×10×16
ｽﾗﾌﾞ	ｷｰｽﾄﾝﾌﾟﾚｰﾄ1.2T

スラブリスト

			短辺方向		長辺方向	
符　号	ｽﾗﾌﾞ厚		端　部	中　央	端　部	中　央
PH　RS2	t=150	上	9φ@200	9φ@400	9φ@200	9φ@200
		下	9φ@400	9φ@200	9φ@400	9φ@200
RS1	t=150	上	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400
5S3		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
PH　RS1 RS2 5S2	t=150	上	9φ@150	9φ@300	9φ@150	9φ@300
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S1	t=150	上	9,13φ@200		9φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9φ@400
2,3,4,S1	t=120	上	9,13φ@200		9,13φ@200	
		下	9φ@400	9,13φ@200	9φ@400	9,13φ@200
2,3,4,S2	t=120	上	9φ@150		9φ@150	
		下	9φ@300	9φ@150	9φ@300	9φ@150
5S4	t=150	上	9,13φ@150	9,13φ@150	9φ@250	9φ@250
便所持出ｽﾗﾌﾞ		下	9φ@150	9φ@150	9φ@250	9φ@250

Project　シビックセンターたからや解体工事

Title　既存５階柱・Ｒ階梁伏図　メンバーリスト　S=1:200

Designed by
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
TEL　0858－22－7717　FAX　0858－23－5315

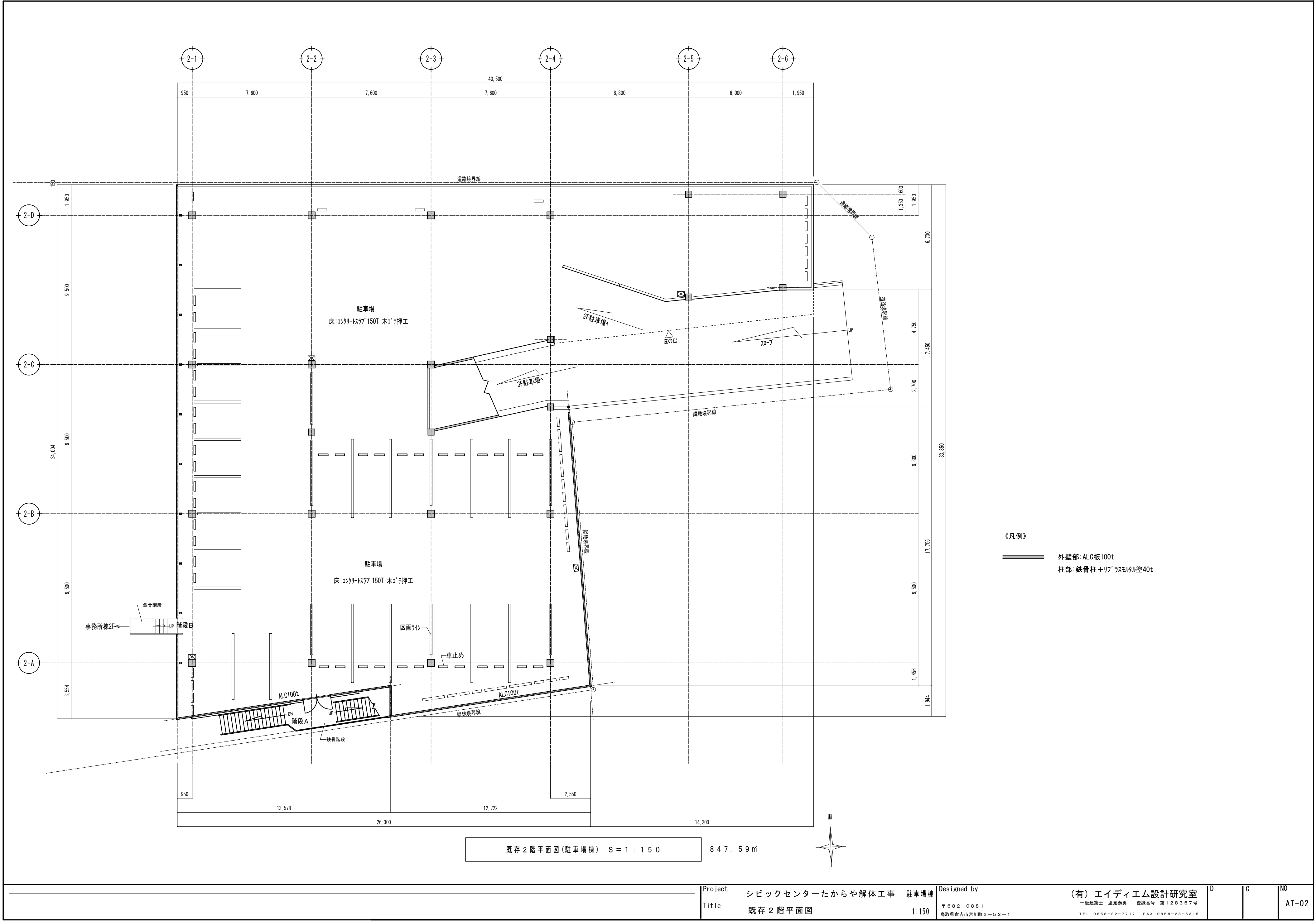
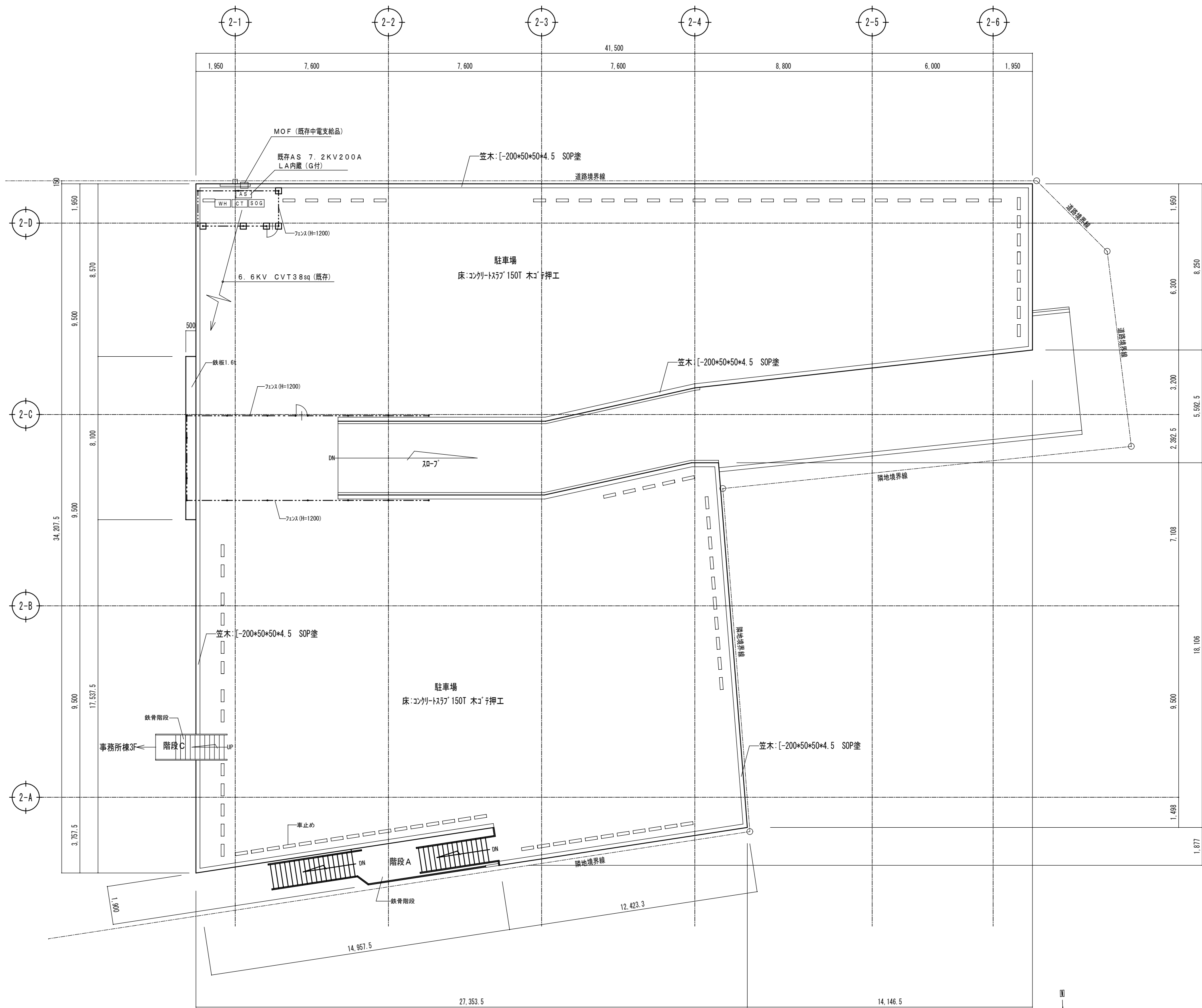
D　C　NO　SJ-07

駐車場棟面積表(㎡)	
建築面積	986.94
1階床面積	964.33
2階床面積	847.59
R階(屋上)床面積	847.59
延床面積	2659.51

《凡例》

外壁部:ALC板100t(一部ALC100t+鉄骨胴縁下地角波カラー鉄板0.4t)
柱部:鉄骨柱+リブラスモルタル塗40t
内壁部:化粧コンクリートブロック積み120T

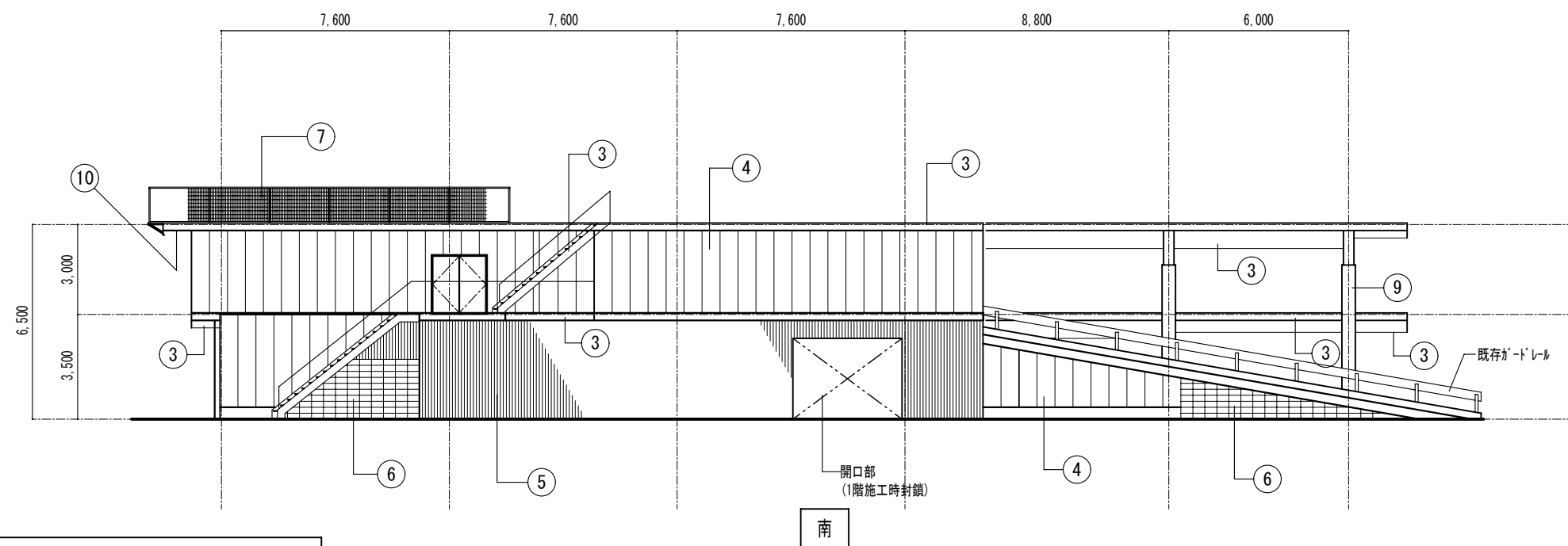
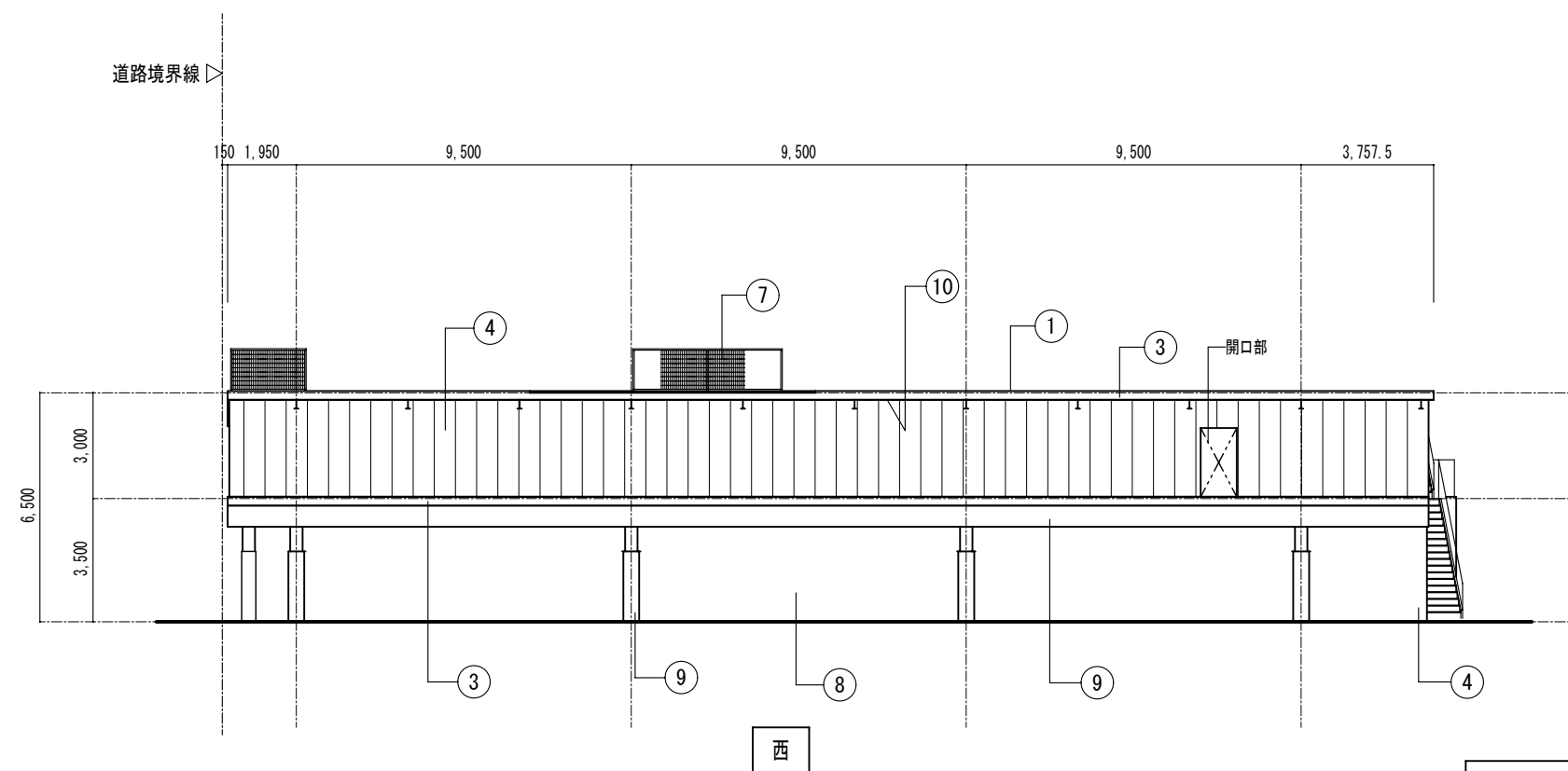
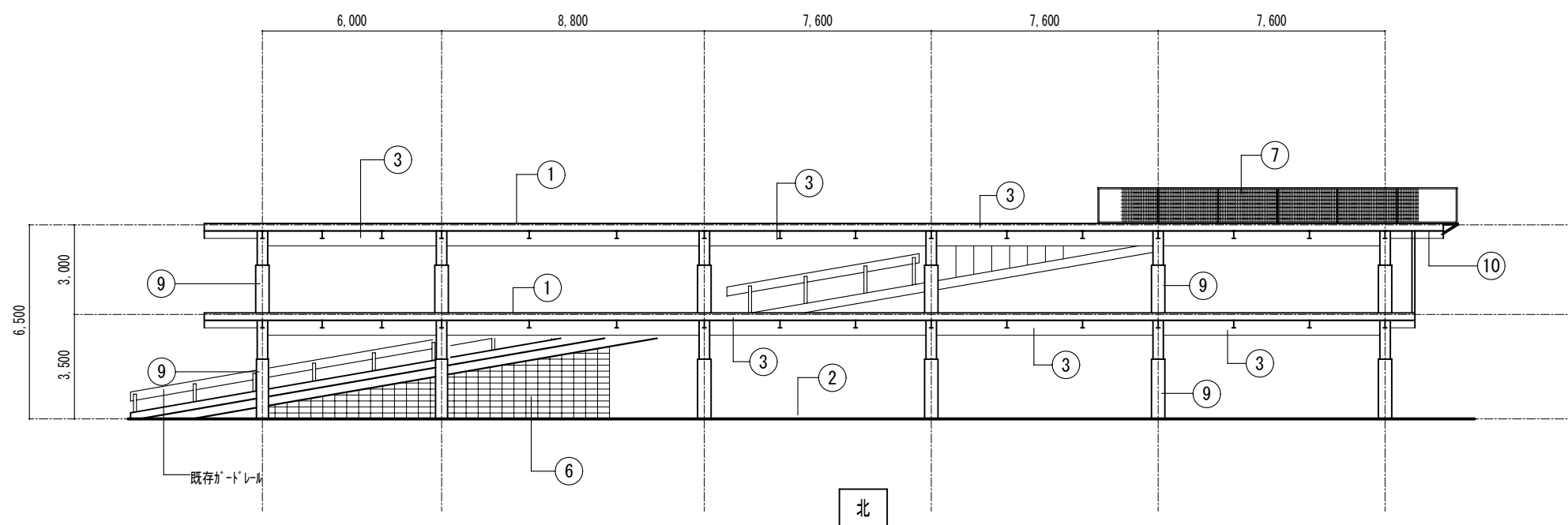
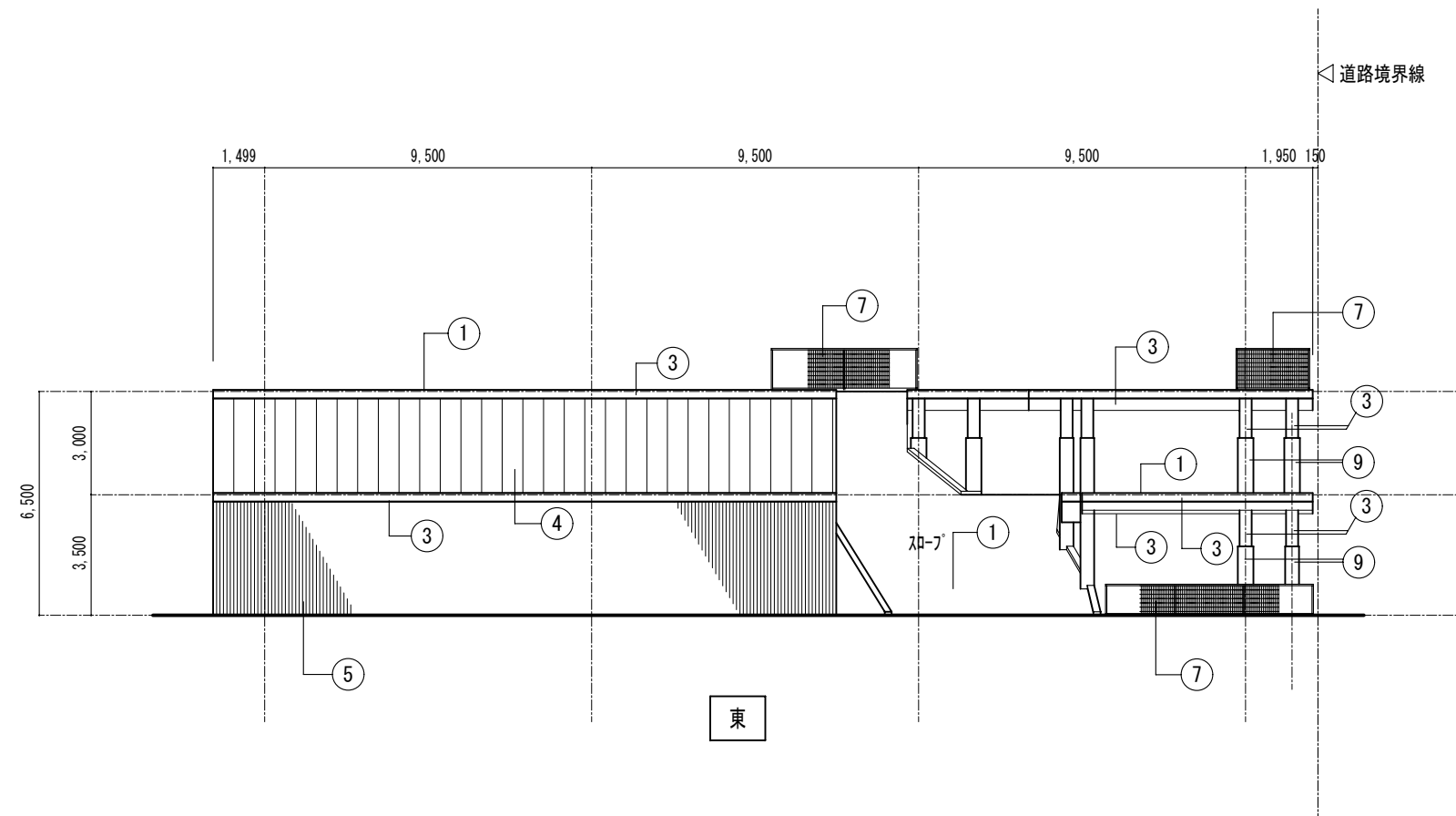
内壁:P.B9.5t片面貼あらわし(LGS65下地@455)

Project	シビックセンターたからや解体工事	駐車場棟	Designed by	(有)エイディエム設計研究室	NO AT-01
Title	既存1階平面図	1:150	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町2-52-1	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315	

駐車場
床:コンクリートスラブ150T 木ゴテ押工
2F駐車場へ
3F駐車場へ
スロープ
庇の出
道路境界線
隣地境界線
区画ライン
車止め
ALC100t
階段A
階段B
事務所棟2F
鉄骨階段
《凡例》
外壁部:ALC板100t
柱部:鉄骨柱+リブラスモルタル塗40t
既存２階平面図(駐車場棟)　S＝1：150
847.59㎡
Project シビックセンターたからや解体工事　駐車場棟
Title 既存２階平面図
1:150
Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
(有) エイディエム設計研究室
TEL 0858-22-7717　FAX 0858-23-5315
NO AT-02

Project シビックセンターたからや解体工事 駐車場棟

Title 既存R階平面図 1:150

Designed by
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町2－52－1
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315

NO AT-03

記号	既存仕上	備考	記号	既存仕上	備考	記号	既存仕上	備考
1	床:ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ150T 木ｺﾞﾃ押工 V型ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ1.2T H=50		5	内部:ALC板100Tあらわし 外部:鉄骨胴縁下地角波ｶﾗｰ鉄板貼0.4T		9	柱廻り:ﾗｽﾓﾙﾀﾙ塗40T	
2	床:土間ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ120T　木ｺﾞﾃ押工		6	化粧ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み120T		10	軒裏:V型ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ1.2T H=50 SOP塗	
3	鉄骨あらわし　SOP塗		7	PCﾌｪﾝｽ				
4	ALC板100Tあらわし		8	軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ(旧:乙防)				

Project	シビックセンターたからや解体工事　駐車場棟	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	既存立面図(解体)　1:200	〒682−0881	一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号 TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315			AT-04

	外端	中央	内端
	400×800	400×800	400×800
FG1	5-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 5-D22	2-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 2-D22	4-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 4-D22
	400×800	400×800	400×800
FG2	7-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 7-D22	3-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D22	4-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 4-D22

	外端	中央	内端
	400×800	400×800	400×800
FG3	5-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 5-D22	3-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D22	3-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D22
	400×800	400×800	400×800
FG4	5-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 5-D22	4-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 4-D22	4-D22 / 2-φ9 / st9φ@250 / 4-D22

	外端	中央	内端
	400×800	400×800	400×800
FG5	5-D19 / 2-φ9 / st9φ@250 / 5-D19	3-D19 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D19	4-D19 / 2-φ9 / st9φ@250 / 4-D19
	400×800	400×800	400×800
FG6	3-D16 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D16	3-D16 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D16	3-D16 / 2-φ9 / st9φ@250 / 3-D16

Project　シビックセンターたからや解体工事
Title　基礎リスト(駐車場棟)　S=1:50

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町2−52−1
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

D　C　NO ST-02

既存１階柱・２階梁伏図(駐車場棟)　S＝１：１５０

メンバーリスト		備　考
1C1	H-350*350*12*19 COV.PL-9	
1C2	H-350*350*12*19 COV.PL-6	
1C3	H-300*300*10*15 COV.PL-6	
1MC1	H-300*300*10*15	
1MC2	2C-150*50*20*3.2	
2G1	H-500*200*10*16	
2G2	H-596*199*10*15	
2G3	H-396*199*7*11	
2GA	H-596*199*10*15	
2GB	H-350*175*7*11	
2B1	H-500*200*10*16	
2B2	H-350*175*7*11	
2B3	H-250*125*6*9	
2B4	H-396*199*7*11	
2B5	H-250*125*6*9	
2B6	H-300*150*6.5*9	
2B7	[-250*50*4	
ｽﾗﾌﾞ	V型DPL-1.2T	有り　15T

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	（有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	既存１階柱・２階梁伏図　メンバーリスト	〒６８２－０８８１ 鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１	一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号 TEL　0858－22－7717　FAX　0858－23－5315			ST-03

既存2階柱・R階梁伏図(駐車場棟)　S＝1：150

メンバーリスト		備　考
2C1	H-350*350*12*19 COV.PL-9	
2C2	H-350*350*12*19 COV.PL-6	
2C3	H-300*300*10*15 COV.PL-6	
2MC1	H-200*200*8*12	
2MC2	2C-150*50*20*3.2	
RG1	H-500*200*10*16	
RG2	H-596*199*10*15	
RG3	H-396*199*7*11	
RGA	H-596*199*10*15	
RGB	H-350*175*7*11	
RB1	H-500*200*10*16	
RB2	H-350*175*7*11	
RB3	H-250*125*6*9	
RB4	H-396*199*7*11	
RB5	H-250*125*6*9	
RB6	H-300*150*6.5*9	
RB7	[-250*50*4	
ｽﾗﾌﾞ	V型DPL-1.2T	

Project　シビックセンターたからや解体工事
Title　駐車場棟2階構造図

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町2−52−1
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

D　C　NO ST-04

解体撤去機器一欄表（弱電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
１階	受信機	1級40回線	１台				
	連動制御機	10回線	１台				
	総合盤		２面				
	表示灯	補助散水栓用	３個				
	アラーム弁接続外し		１箇所				
	保安器盤		１面	600	400	150	
	端子盤	80P	１面	600	400	150	
	端子盤	10P	１面	320	200	150	
	ダクト	250*150*1650	１面	1650	250	150	

搬出機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
１階	1L-1	2P250A 2P20A*27	１面	1750	700	230	
	1L-2	3P300A 1P20A*56	１面	1750	700	230	
	1L-3	WH*11 3P100A*2 3P50A*18 3P30A*9	１面	1750	1750	230	
	ダクト	800*300*4650	１面	4650	800	300	
	M-1	3P600A	１面	1000	570	300	
	ダクト(M-1用)	570*300*2000	１面	2000	570	300	
	M-1-2	3P400A	１面	1800	800	300	
	M-1-3	3P30A*4 mg3P30A*3	１面	850	550	230	
	L-101	3P50A 2P20A*5	１面	500	400	120	
	L-103	2P20A*3	１面	350	350	120	
	L-104	3P50A 3P30A*3 2P20A*6	１面	400	350	120	
	L-105	3P50A 3P30A*3 2P20A*4	１面	870	450	120	
	L-107	3P50A 2P20A*4	１面	870	450	120	
	ショーケース電灯盤	3P300A 1P20A*60	１面	1800	600	200	
	ML-2	設備施工	１面	2030	1000	400	
	動力盤	3P30A*2	１面	400	350	150	

Project　シビックセンターたからや解体工事　1:200

Title　電気設備１階平面図　S=1:200

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

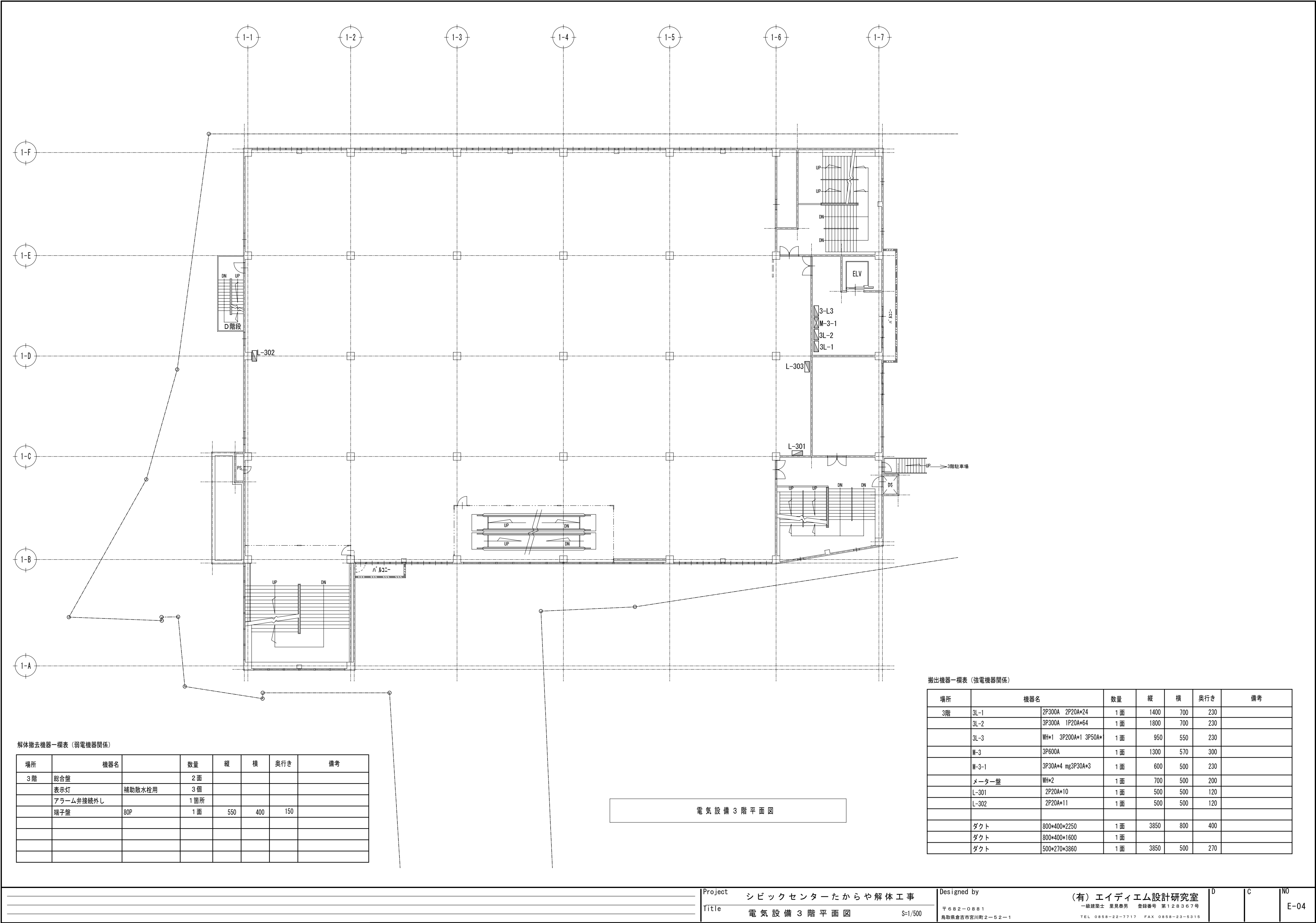
D　C　NO　E-02

解体撤去機器一欄表（弱電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
２階	総合盤		２面				
	表示灯	補助散水栓用	３個				
	アラーム弁接続外し		１箇所				
	端子盤	80P	１面	600	400	150	

搬出機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
２階	2L-1	2P300A 2P20A*24	１面	1400	700	230	
	2L-2	3P300A 1P20A*64	１面	1800	700	230	
	2L-3	WH*3 3P50A*4 3P225A 2P20A*3	１面	1650	700	230	
	M-2	3P600A	―				
	M-2-1	3P30A*4 mg3P30A*3	１面	600	500	230	
	ダクト	800*400*2250	１面				
	ダクト	800*400*1600	１面				
	ダクト	500*270*3860	１面				

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	（有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	電気設備２階平面図 S=1/500	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号 TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315			E-03

解体撤去機器一欄表（弱電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
3階	総合盤		2面				
	表示灯	補助散水栓用	3個				
	アラーム弁接続外し		1箇所				
	端子盤	80P	1面	550	400	150	

搬出機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
3階	3L-1	2P300A 2P20A*24	1面	1400	700	230	
	3L-2	3P300A 1P20A*64	1面	1800	700	230	
	3L-3	WH*1 3P200A*1 3P50A*	1面	950	550	230	
	M-3	3P600A	1面	1300	570	300	
	M-3-1	3P30A*4 mg3P30A*3	1面	600	500	230	
	メーター盤	WH*2	1面	700	500	200	
	L-301	2P20A*10	1面	500	500	120	
	L-302	2P20A*11	1面	500	500	120	
	ダクト	800*400*2250	1面	3850	800	400	
	ダクト	800*400*1600	1面				
	ダクト	500*270*3860	1面	3850	500	270	

電気設備３階平面図

Project	シビックセンターたからや解体工事		Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	電気設備３階平面図	S=1/500	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315			E-04

解体撤去機器一欄表（弱電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
4階	総合盤		2面				
	表示灯	補助散水栓用	1個				
	アラーム弁接続外し		1箇所				
	端子盤	80P	1面	550	400	150	

電気設備４階平面図

搬出機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
4階	4L-1	2P300A 2P20A*24	1面	1770	700	230	
	4L-2	3P300A 1P20A*64	1面	1770	700	230	
	M-4	3P600A	1面	1300	570	300	
	M-4-1	3P30A*4 mg3P30A*3	1面	600	500	230	
	M-4-2	3P300A 3P30A*9	1面	840	830	290	
	空調盤	設備施工分	1面	1500	740	260	
	冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ盤	設備施工分	1面	880	500	250	
	L-403		1面	1450	800	230	
	ダクト	800*400*1100		2870	800	400	
	ダクト	800*400*1770	1面				
	ダクト	500*270*3860	1面	3860	500	270	

Project シビックセンターたからや解体工事
Title 電気設備４階平面図 S=1:200

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号
TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315

D C NO E-05

電気室トランスPCB含有リスト

符号	機　種	メーカー・型式	製造番号	製造年	油　量	備　考
T-1	変圧器	東京芝浦電気 HCTR-S1	75002825	1975年	437ﾘｯﾄﾙ	PCB含有
T-2	変圧器	東京芝浦電気 HCR-S1	75003879	1975年	259ﾘｯﾄﾙ	
T-3	単相変圧器	三菱電機 SF式	126393	1971年	100ﾘｯﾄﾙ	PCB含有
T-4	三相変圧器	ダイヘン SP・PW1	P0623019	1991年	115ﾘｯﾄﾙ	
T-5	単相変圧器	三菱電機 SF-T式	180549	1991年	105ﾘｯﾄﾙ	
C-1	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	ニチコン AF702530KB7	B9P0430	1999年		
C-2	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	東京芝浦電気 BRTR-A6JR	試験番号 75500149	1975年		PCB含有
C-3	高圧進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	東京芝浦電気 BRTR-A6JR	試験番号 7550014	1975年		PCB含有

※PCB含有機器は、本工事の対象外とする。
　但し、敷地内所定の位置(地上)までの運搬は本工事範囲内とする。

解体撤去機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	重量	縦	横	奥行き	備考
５階電気室	変圧器	単相150KVA	１台					
	変圧器	3相150KVA	１台					
	変圧器	単相 50KVA	１台	295kg	900	600	600	仮置きPCB有
	変圧器	3相500KVA	１台	1760kg	1200	1600	950	仮置きPCB有
	変圧器	単相200KVA	１台					仮置き
	高圧コンデンサー	3相53.2KVar	１台					
	高圧コンデンサー	3相150KV	１台	67kg	500	600	300	PCB有
	高圧コンデンサー	3相150KV	１台	67kg	500	600	300	PCB有
	高圧盤	t=2.3	１面		2350	600	50	
	低圧動力盤NO.1	t=2.3	１面		2350	1000	50	
	低圧動力盤NO.2	t=2.3	１面		2350	700	50	
	低圧動力盤NO.2	t=2.3	１面		2350	700	50	
	低圧電灯盤NO.1	t=2.3	１面		2350	800	50	
	低圧電灯盤NO.２	t=2.3	１面		2350	700	50	
	低圧電灯盤NO.３	t=2.3	１面		2350	700	50	
	高圧コンデンサー盤	t=2.3	１面		2350	600	50	
	直流電源盤	整流器	１面		1950	750	1200	
	フレームパイプ	32A	202m					
	断路器	単極	１組					
	高圧油遮断器	2p20A*5	１台					
	高圧開閉器	LBS3P200A以下	５台					
	バッテリー		２５台					仮置き

解体撤去機器一欄表（弱電機器関係）

５階	総合盤		２面				
	表示灯	補助散水栓用	１個				
	アラーム弁接続外し		１箇所				
	火災表示器	20回線	１台	400	390	100	
	電鈴		１個				
	直流電源装置		１台	1160	600	500	
	電話盤 PBX10		１面	1940	1300	280	
	電話器		１台	150	420	310	
	PBX10夜間転換器	樹脂製	１台	100	270	160	
	電話関連機器？	樹脂製	１台	100	240	300	

搬出機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
５階	5L-1	2P20A*12 1P20A*16	１面	1800	700	160	
	テナント盤	WH*12 3P30A*12	１面	1860	850	180	
			—				
	空調手元盤	3P60A 架台H=200	１面	600	300	150	
	M-5-2 空調用	3P100A	１面	550	320	200	
	店舗盤	2P20A*4 CKS3P30A	3面	320	340	120	
	動力盤（木製）	3P75A SC20μF 3P30A*3	1面				開閉器のみ
	動力盤（木製）	SC20μF*2 3P5.5A 3P4.2A	1面				開閉器のみ

Project	シビックセンターたからや解体工事	
Title	電気設備５階平面図	S=1:200

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号
TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315

D
C
NO
E-06

解体撤去機器一欄表（強電機器関係）

場所	機器名		数量	縦	横	奥行き	備考
屋上	発電機	115KVA	1基				
	バッテリー	HS-80　6個	内蔵				
	ラジエター	架台共	1基				
	消音装置		1基				

Project　シビックセンターたからや解体工事
Title　電気設備Ｒ階平面図　S=1:200

Designed by
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315

D　C　NO E-07

符号	種別	型式	数量						備考
			1階	2階	3階	4階	5階	小計	
	大便器		2	4		4	2		
	小便器		2	2		2	1		
	手洗器		2	3		3	2		
	掃除流し			1	1	1			
	補助散水栓(格納式)		3	3	3	3	3		
①	空調器（天井埋込型）	PUH-J160FK	17						冷媒ﾌﾛﾝ処理
②	空調器（天井埋込型）	SWP-CHJ160T		13					冷媒ﾌﾛﾝ処理
③	空調器（冷凍機）	PF-120G		1	1	1			冷媒ﾌﾛﾝ処理(2Fは処理済)
④	空調器（冷凍機）	RP-1509E					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑤	空調器（冷凍機）	CP-105					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑥	空調器（冷凍機）	PFH-3A1					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑦	空調器（冷凍機）								
⑧	空調ﾀﾞｸﾄ残分								
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									

Project　シビックセンターたからや解体工事
Title　機械設備1階平面図　S=1:200

Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858-22-7717　FAX 0858-23-5315

NO M-02

符号	種別	型式	数量 1階	2階	3階	4階	5階	小計	備考
	大便器		2	4		4	2		
	小便器		2	2		2	1		
	手洗器		2	3		3	2		
	掃除流し			1	1	1			
	補助散水栓(格納式)		3	3	3	3	3		
①	空調器（天井埋込型）	PUH-J160FK	17						冷媒ﾌﾛﾝ処理
②	空調器（天井埋込型）	SWP-CHJ160T		13					冷媒ﾌﾛﾝ処理
③	空調器（冷凍機）	PF-120G		1	1	1			冷媒ﾌﾛﾝ処理(2Fは処理済)
④	空調器（冷凍機）	RP-1509E					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑤	空調器（冷凍機）	CP-105					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑥	空調器（冷凍機）	PFH-3A1					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑦	空調器（冷凍機）								
⑧	空調ﾀﾞｸﾄ残分								
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	（有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	機械設備２階平面図 S=1:200	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第１２８３６７号 TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315			M-03

符号	種　別	型　式	数　量						備　考
			1階	2階	3階	4階	5階	小計	
	大便器		2	4		4	2		
	小便器		2	2		2	1		
	手洗器		2	3		3	2		
	掃除流し			1	1	1			
	補助散水栓(格納式)		3	3	3	3	3		
①	空調器（天井埋込型）	PUH-J160FK	17						冷媒ﾌﾛﾝ処理
②	空調器（天井埋込型）	SWP-CHJ160T		13					冷媒ﾌﾛﾝ処理
③	空調器（冷凍機）	PF-120G		1	1	1			冷媒ﾌﾛﾝ処理(2Fは処理済)
④	空調器（冷凍機）	RP-1509E					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑤	空調器（冷凍機）	CP-105					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑥	空調器（冷凍機）	PFH-3A1					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑦	空調器（冷凍機）								
⑧	空調ﾀﾞｸﾄ残分								
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									

機 械 設 備 3 階 平 面 図　S=1:200

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	（有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	機 械 設 備 3 階 平 面 図　S=1:200	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号 TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315			M-04

符号	種別	型式	数量 1階	2階	3階	4階	5階	小計	備考
	大便器		2	4		4	2		
	小便器		2	2		2	1		
	手洗器		2	3		3	2		
	掃除流し			1	1	1			
	補助散水栓(格納式)		3	3	3	3	3		
①	空調器（天井埋込型）	PUH-J160FK	17						冷媒フロン処理
②	空調器（天井埋込型）	SWP-CHJ160T		13					冷媒フロン処理
③	空調器（冷凍機）	PF-120G		1	1	1			冷媒フロン処理(2Fは処理済)
④	空調器（冷凍機）	RP-1509E					1		冷媒フロン処理
⑤	空調器（冷凍機）	CP-105					1		冷媒フロン処理
⑥	空調器（冷凍機）	PFH-3A1					1		冷媒フロン処理
⑦	空調器（冷凍機）								
⑧	空調ダクト残分								
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									

符号	種　別	型　式	数　量						備　考
			1階	2階	3階	4階	5階	小計	
	大便器		2	4		4	2		
	小便器		2	2		2	1		
	手洗器		2	3		3	2		
	掃除流し			1	1	1			
	補助散水栓(格納式)		3	3	3	3	3		
①	空調器（天井埋込型）	PUH-J160FK	17						冷媒ﾌﾛﾝ処理
②	空調器（天井埋込型）	SWP-CHJ160T		13					冷媒ﾌﾛﾝ処理
③	空調器（冷凍機）	PF-120G		1	1	1			冷媒ﾌﾛﾝ処理(2Fは処理済)
④	空調器（冷凍機）	RP-1509E					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑤	空調器（冷凍機）	CP-105					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑥	空調器（冷凍機）	PFH-3A1					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑦	空調器（冷凍機）								
⑧	空調ﾀﾞｸﾄ残分								
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	機械設備５階平面図　S=1:200	〒682−0881 鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１	一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号 TEL 0858−22−7717　FAX 0858−23−5315			M-06

符号	種別	型式	数量						備考
			1階	2階	3階	4階	5階	小計	
	大便器		2	4		4	2		
	小便器		2	2		2	1		
	手洗器		2	3		3	2		
	掃除流し			1	1	1			
	補助散水栓(格納式)		3	3	3	3	3		
①	空調器（天井埋込型）	PUH-J160FK	17						冷媒ﾌﾛﾝ処理
②	空調器（天井埋込型）	SWP-CHJ160T		13					冷媒ﾌﾛﾝ処理
③	空調器（冷凍機）	PF-120G		1	1	1			冷媒ﾌﾛﾝ処理(2Fは処理済)
④	空調器（冷凍機）	RP-1509E					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑤	空調器（冷凍機）	CP-105					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑥	空調器（冷凍機）	PFH-3A1					1		冷媒ﾌﾛﾝ処理
⑦	空調器（冷凍機）								
⑧	空調ﾀﾞｸﾄ残分								
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									

凡例

- ⊠ ：補助散水栓（格納箱））
- −SP− ：スプリンクラー配管
- P1 ：スプリンクラーポンプ
- P2 ：冷却水ポンプ

既存ＰＨ１階平面図(事務所棟)　Ｓ＝１：２００

PH 1階床面積18.00㎡

Project	シビックセンターたからや解体工事	Designed by	（有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	機械設備Ｒ階平面図　S=1:200	〒６８２－０８８１ 鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１	一級建築士　里見泰男　登録番号　第１２８３６７号 TEL　0858-22-7717　FAX　0858-23-5315			M-07